

注3

大学番号：077

事前伺い

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

熊本大学大学院 自然科学教育部

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人熊本大学
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画本部

職名・氏名 一般職員・西^{ニシ}沙織^{サオリ}

電話番号 096-342-2032

（夜間） 096-342-2032

F A X 096-342-3007

e-mail sgo-kikaku@jim.kumamoto-u.ac.jp

担当部局（課）名 教育研究支援部自然科学系事務課

職名・氏名 係長・小島^{コジマ}智絵^{チエ}

電話番号 096-342-3512

（夜間） 096-342-3512

F A X 096-342-3510

e-mail szk-somu@jim.kumamoto-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

自然科学教育部

<理学専攻（博士後期課程）>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	36

<工学専攻（博士後期課程）>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	38
2. 授業科目の概要	42
3. 施設・設備の整備状況、経費	50
4. 既設大学等の状況	51
5. 教員組織の状況	54
6. 附帯事項等に対する履行状況等	79
7. その他全般的事項	80

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 熊本大学

(2) 大 学 名

熊本大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(ハラダ シンジ) 原田 信志 (平成27年4月)		
教育部長	(イカリ フサオ) 市川 聡夫 (平成30年4月)	(ヲカサ サダヒロ) 連川 貞弘 (令和2年4月)	任期満了に伴う変更 (令和2年4月1日)(2)
専攻長	(スミ ナヤ) 鷲見 直哉 (平成30年4月)	(イヱリョウ) 入江 一 亮 (平成31年4月) (スミ ナヤ) 鷲見 直哉 (令和2年4月1日)	任期満了に伴う変更 (平成31年4月1日)(元) 任期満了に伴う変更 (令和2年4月1日)(2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
 令和2年度に報告する内容 → (2)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科の 分野	設 置 時 の 計 画				備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
自然科学教育部 理学専攻 (博士後期課程) 博士(理学) 博士(学術)	理学関係	3 年	12 人	年次 人	36 人	基礎となる学部等 理学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から報 告年度までの平 均入学定員超過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	12人 (-) [-]	-人 (-) [-]	12人 (-) [-]	-人 (-) [-]	12人 (-) [-]	-人 (-) [-]	0.82倍	倍	
志願者数	6 (-) [-]	6 (-) [4]	8 (-) [-]	4 (-) [4]	9 (-) [1]	-人 (-) [-]			
受験者数	6 (-) [-]	6 (-) [4]	8 (-) [-]	4 (-) [4]	8 (-) [1]	-人 (-) [-]			
合格者数	6 (-) [-]	5 (-) [3]	8 (-) [-]	4 (-) [4]	8 (-) [1]	-人 (-) [-]			
B 入学者数	6 (-) [-]	5 (-) [3]	7 (-) [-]	4 (-) [4]	8 (-) [1]	-人 (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	0.91		0.91		0.66				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	6 [-] (-)	5 [3] (-)	7 [-] (-)	4 [4] (-)	8 [1] (-)	4 [4] (-)	
2 年次			6 [-] (-)	5 [3] (-)	7 [-] (-)	5 [3] (-)	
3 年次					6 [-] (-)	- [-] (-)	
計	11 [3] (-)		22 [7] (-)		30 [8] (-)		

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	11 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	22 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	30 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{22} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{30} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜自然科学教育部 理学専攻（博士後期課程）＞

（１）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
理工 融合 教育 科目	先端科学科目 科学技術と社会Ⅰ	1・2・3前		1		2	2					兼4	
	科学技術と社会Ⅱ	1・2・3後		1		2	2					兼4	
	日本の先端科学Ⅱ	1・2・3通			2							兼1	
	科学技術英語特論	1・2・3通			2							兼1	
	小計(4科目)	—	0	2	4	4	4	0	0	0		兼9	
	大学院教養教育科目 現代社会理解 A	1・2・3通		1								兼1	
	現代社会理解 B	1・2・3通		1								兼1	
	技術革新のための基礎科学	1・2・3通		1								兼1	
	マネジメント概論	1・2・3通		1								兼1	
	科学の歴史	1・2・3通		1								兼1	
	小計(5科目)	—	0	5	0	0	0	0	0	0		兼5	
	MOT特別教育科目 MOT概論・基礎編	1前			1							兼4	
	MOT概論・応用編	1前			1							兼1	
	実践MOT	1後			2							兼1	
プロジェクトマネジメント	1後			1							兼1		
生産マネジメント	1後			1							兼1		
企業経営概論	1後			1							兼1		
ベンチャー企業論	1前			1							兼5		
小計(7科目)	—	0	0	8	0	0	0	0	0	0		兼9	
専 門 科 目	共通科目 理学ゼミナール	1～3通		4		28	32		11				
	インターンシップⅡ	1・2・3通		2		1							
	特別プレゼンテーションⅡ	1・2・3通		2		28	32		11				
	小計(3科目)	—	0	8	0	28	32	0	11	0	0		
	数学 コース 科目	有限群論と組合せ構造	1・2・3前		2			1					
		解析数論	1・2・3前		2			1					
		表現論	1・2・3前		2		1						
		代数幾何学特論	1・2・3前		2			1					
		曲面論	1・2・3前		2			1					
		リーマン幾何学	1・2・3後		2			1					
		偏微分方程式論	1・2・3後		2		1						
		微分代数学	1・2・3前		2		1						
		大域解析学	1・2・3後		2		1						
		力学系特論A	1・2・3後		2			1					
		力学系特論B	1・2・3前		2		1						
	確率過程論	1・2・3後		2		1							
	小計(12科目)	—	0	24	0	6	6	0	0	0	0		
	物理 科学 コース 科目	固体電子論C	1・2・3前		1		1						
		固体電子論D	1・2・3前		1		1						
		コンピュータ物理学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
		物性物理学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
		素粒子物理学	1・2・3前		2			1					
		宇宙物理学Ⅱ	1・2・3前		2			1					
		光物性特論	1・2・3後		2		1						
3D活性サイト科学特論		1・2・3前		2		1							
基礎物理特論		1・2・3前		2		1							
超高速分光光学特論		1・2・3前		2			1						
微小領域物性特論		1・2・3前		2			1						
高圧物性物理学特論Ⅱ	1・2・3後		2					1					
小計(12科目)	—	0	22	0	6	4	0	1	0	0			
化学 コース 科目	物理化学特論Ⅳ	1前		2		1							
	物理化学特論Ⅴ	1後		2		1							
	物理化学特論Ⅵ	2前		2			1						
	無機化学特論Ⅳ	1前		2		1							
	無機化学特論Ⅴ	1後		2			1						
	有機化学特論Ⅳ	1前		2		1							
	有機化学特論Ⅴ	1後		2		1							
	有機化学特論Ⅵ	2前		2			1						
	分析化学特論Ⅳ	1前		2		1							
	分析化学特論Ⅴ	1後		2			1						
分析化学特論Ⅵ	2前		2			1							
小計(11科目)	—	0	22	0	5	5	0	0	0	0			

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
理工 融合 教育 科目	先端科学科目 科学技術と社会Ⅰ	1・2・3前		1		2	1					兼5
	科学技術と社会Ⅱ	1・2・3後		1		3						兼5
	日本の先端科学Ⅱ	1・2・3通			2	1						
	科学技術英語特論	1・2・3通			2	1						
	小計(4科目)	—	0	2	4	6	1	0	0	0		兼10
	大学院教養教育科目 現代社会理解 A	1・2・3通		1								兼3
	現代社会理解 B	1・2・3通		1								兼4
	技術革新のための基礎科学	1・2・3通		1								兼7
	マネジメント概論	1・2・3通		1								兼3
	科学の歴史	1・2・3通		1								兼3
	小計(5科目)	—	0	5	0	0	0	0	0	0		兼20
	MOT特別教育科目 MOT概論・基礎編	1前			1							兼1
	MOT概論・応用編	1前			1							兼2
	実践MOT	1後			2							兼1
プロジェクトマネジメント	1後			1							兼3	
生産マネジメント	1後			1							兼3	
企業経営概論	1後			1							兼4	
ベンチャー企業論	1前			1							兼5	
小計(7科目)	—	0	0	8	0	0	0	0	0	0	兼16	
専 門 科 目	共通科目 理学ゼミナール	1～3通		4		38	32		12			
	インターンシップⅡ	1・2・3通		2		1						
	特別プレゼンテーションⅡ	1・2・3通		2		38	32		12			
	小計(3科目)	—	0	8	0	38	32	0	12	0	0	
	数学コース科目 有限群論と組合せ構造	1・2・3前		2		1						
	解析数論	1・2・3前		2			1					
	表現論	1・2・3前		2		1						
	代数幾何学特論	1・2・3前		2			1					
	曲面論	1・2・3前		2			1					
	リーマン幾何学	1・2・3後		2			1					
	偏微分方程式論	1・2・3後		2		1						
	微分代数学	1・2・3前		2		1						
	大域解析学(未開講)	1・2・3後		2		1						
	力学系特論A	1・2・3後		2			1					
	力学系特論B	1・2・3前		2		1						
	確率過程論(未開講)	1・2・3後		2		1						
	無限次元表現論	1・2・3前		2			1					
	複素幾何学	1・2・3後		2		1						
	可換環論と代数多様体論	1・2・3前		2		1						
	小計(15科目)	—	0	30	0	7	6	0	0	0	0	
	物理科学コース科目 固体電子論C	1・2・3前		1		1						
	固体電子論D	1・2・3前		1		1						
	コンピュータ物理学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
物性物理学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1							
素粒子物理学	1・2・3前		2			1						
宇宙物理学Ⅱ	1・2・3前		2			1						
光物性特論	1・2・3後		2		1							
3D活性サイト科学特論	1・2・3前		2		1							
基礎物理特論	1・2・3前		2		1							
超高速分光光学特論	1・2・3前		2			1						
微小領域物性特論	1・2・3前		2			1						
高圧物性物理学特論Ⅱ	1・2・3後		2					1				
データ科学特論Ⅱ	1・2・3後		2						1			
小計(13科目)	—	0	24	0	6	4	0	2	0	0		
化学コース科目 物理化学特論Ⅳ	1前		2			1						
物理化学特論Ⅴ	1後		2		1							
物理化学特論Ⅵ	2前		2		1							
無機化学特論Ⅳ	1前		2		1							
無機化学特論Ⅴ	1後		2			1						
有機化学特論Ⅳ	1前		2		1							
有機化学特論Ⅴ	1後		2		1							
有機化学特論Ⅵ	2前		2		1							
分析化学特論Ⅳ	1前		2		1							
分析化学特論Ⅴ	1後		2			1						
分析化学特論Ⅵ	2前		2			1						
小計(11科目)	—	0	22	0	7	4	0	0	0	0		

専門科目	地球環境科学コース科目	岩石反応学特論	1・2・3後	2					1				
		進化古生物学特論	1・2・3前	2			1						
		ジオモデリング	1・2・3後	2		1							
		表層環境変遷論特論	1・2・3後	2		1							
		地球物性学特論	1・2・3前	2		1							
		鉱物環境化学特論	1・2・3前	2		1							
		微生物学特論	1・2・3前	2			1						
		気候学特論	1・2・3前	2			1						
		地球環境解析学特論	1・2・3後	2			1						
		地殻変動特論	1・2・3後	2			1						
		同位体水文学特論	1・2・3後	2			1						
		海洋火山学	1・2・3後	2			1						
		流域環境科学特論	1・2・3後	2			1						
		地球電磁気学特論	1・2・3後	2			1						
	小計(14科目)			—	0	28	0	4	9	0	1	0	0
	生物科学コース科目	動物細胞学特論Ⅱ	1・2・3前	2				1					
		動物生理学特論Ⅱ	1・2・3後	2			1						
		動物工学特論Ⅱ	1・2・3後	2				1					
		発生生物学特論Ⅱ	1・2・3後	2				1					
		分子遺伝学特論Ⅱ	1・2・3後	2			1						
		分子細胞生物学特論Ⅱ	1・2・3前	2			1						
		生化学特論Ⅱ	1・2・3後	2				1					
		植物分子生物学特論Ⅱ	1・2・3後	2			1						
		植物細胞学特論Ⅱ	1・2・3後	2			1						
		植物遺伝学特論Ⅱ	1・2・3後	2				1					
		系統分類学特論Ⅱ	1・2・3後	2			1						
		行動進化学特論Ⅱ	1・2・3後	2			1						
		保全生物学特論Ⅱ	1・2・3後	2				1					
		自然誌科学特論Ⅱ	1・2・3後	2				1					
	海洋生態・多様性学特論Ⅱ	1・2・3後	2				1						
	小計(15科目)			—	0	30	0	7	8	0	0	0	0
合計(83科目)			—	0	141	12	28	31	0	11	0	兼20	
卒業要件及び履修方法													
修了要件は、後期課程に3年以上在学し、理工融合教育科目および専門科目の選択科目から12単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を所定の手続きに従って提出し、学位論文の審査、ならびに口頭試問による最終試験に合格することである。 なお、理工融合教育科目の大学院教養教育科目については、1単位のみ修了要件単位として認める。													

専門科目	地球環境科学コース科目	岩石反応学特論	1・2・3後	2					1			
		進化古生物学特論	1・2・3前	2					1			
		ジオモデリング	1・2・3後	2			1					
		表層環境変遷論特論	1・2・3後	2			1					
		地球物性学特論	1・2・3前	2			1					
		鉱物環境化学特論	1・2・3前	2			1					
		微生物学特論	1・2・3前	2					1			
		気候学特論	1・2・3前	2					1			
		地球環境解析学特論	1・2・3後	2					1			
		地殻変動特論(未開講)	1・2・3後	2					1			
		同位体水文学特論	1・2・3後	2					1			
		海洋火山学	1・2・3後	2					1			
		流域環境科学特論	1・2・3後	2					1			
		地球電磁気学特論	1・2・3後	2					1			
		第四紀学特論	1・2・3前	2			1					
	小計(15科目)	—	0	30	0	5	8	0	1	0	0	
	生物科学コース科目	動物細胞学特論Ⅱ	1・2・3前	2			1					
		動物生理学特論Ⅱ	1・2・3後	2			1					
		動物工学特論Ⅱ	1・2・3後	2			1					
		発生生物学特論Ⅱ	1・2・3後	2					1			
		分子遺伝学特論Ⅱ	1・2・3後	2			1					
		分子細胞生物学特論Ⅱ	1・2・3前	2			1					
		生化学特論Ⅱ	1・2・3後	2					1			
		植物分子生物学特論Ⅱ	1・2・3後	2			1					
		植物細胞学特論Ⅱ	1・2・3後	2			1					
		植物遺伝学特論Ⅱ	1・2・3後	2					1			
		系統分類学特論Ⅱ	1・2・3後	2			1					
		行動進化学特論Ⅱ	1・2・3後	2			1					
		保全生物学特論Ⅱ	1・2・3後	2					1			
		自然誌科学特論Ⅱ	1・2・3後	2					1			
		海洋生態・多様性学特論Ⅱ	1・2・3後	2			1					
	小計(15科目)	—	0	30	0	9	6	0	0	0	0	
合計(88科目)			—	0	151	12	38	32	0	12	0	兼45
卒業要件及び履修方法												
修了要件は、後期課程に3年以上在学し、理工融合教育科目および専門科目の選択科目から12単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を所定の手続きに従って提出し、学位論文の審査、ならびに口頭試問による最終試験に合格することである。 なお、理工融合教育科目の大学院教養教育科目については、1単位のみ修了要件単位として認める。												

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
理工融合教育科目	先端科学科目 科学技術と社会Ⅰ	1・2・3前		1		2	1				兼5
	科学技術と社会Ⅱ	1・2・3後		1		3					兼5
	日本の先端科学Ⅱ	1・2・3通			2	1					
	科学技術英語特論	1・2・3通			2	1					
	小計(4科目)	—	0	2	4	6	1	0	0	0	兼10
	大学院教養教育科目 現代社会理解 A	1・2・3通		1		1					兼2
	現代社会理解 B	1・2・3通		1							兼1
	技術革新のための基礎科学	1・2・3通		1							兼3
	マネジメント概論	1・2・3通		1							兼7
	科学の歴史	1・2・3通		1							兼3
MOT特別教育科目	小計(5科目)	—	0	5	0	1	0	0	0	0	兼15
	MOT概論・基礎編	1前			1						兼1
	MOT概論・応用編	1前			1						兼1
	実践MOT	1後			2						兼1
	プロジェクトマネジメント	1後			1						兼2
	生産マネジメント	1後			1						兼1
	企業経営概論	1後			1						兼6
	ベンチャー企業論	1前			1						兼5
	小計(7科目)	—	0	0	8	0	0	0	0	0	兼13
共通科目	理学ゼミナール	1～3通		4		29	31		11		
	インターンシップⅡ	1・2・3通		2		1					
	特別プレゼンテーションⅡ	1・2・3通		2		29	31		11		
	小計(3科目)	—	0	8	0	29	31	0	11	0	0
数学コース科目	有限群論と組合せ構造	1・2・3前		2			1				
	解析数論	1・2・3前		2			1				
	表現論	1・2・3前		2		1					
	代数幾何学特論	1・2・3前		2			1				
	曲面論	1・2・3前		2			1				
	リーマン幾何学	1・2・3後		2			1				
	偏微分方程式論	1・2・3後		2		1					
	微分代数学	1・2・3前		2		1					
	大域解析学	1・2・3後		2		1		1			
	力学系特論A	1・2・3後		2			1				
物理科学コース科目	力学系特論B	1・2・3前		2		1					
	確率過程論	1・2・3後		2		1					
	小計(12科目)	—	0	24	0	6	6	0	0	0	0
	固体電子論C	1・2・3前		1		1					
	固体電子論D	1・2・3前		1		1					
	コンピュータ物理学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1					
	物性物理学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1					
	素粒子物理学	1・2・3前		2			1				
	宇宙物理学Ⅱ	1・2・3前		2			1				
	光物性特論	1・2・3後		2		1					
化学コース科目	3D活性サイト科学特論	1・2・3前		2		1					
	基礎物理特論	1・2・3前		2		1					
	超高速分光学特論	1・2・3前		2			1				
	微小領域物性特論	1・2・3前		2			1				
	高圧物性物理学特論Ⅱ	1・2・3後		2					1		
	小計(12科目)	—	0	22	0	6	4	0	1	0	0
	物理化学特論Ⅳ(未開講)	1前		2							兼1
	物理化学特論Ⅴ	1後		2		1					
	物理化学特論Ⅵ	2前		2		1					
	無機化学特論Ⅳ	1前		2		1					
専門科目	無機化学特論Ⅴ	1後		2			1				
	有機化学特論Ⅳ	1前		2		1					
	有機化学特論Ⅴ	1後		2		1					
	有機化学特論Ⅵ	2前		2			1				
	分析化学特論Ⅳ	1前		2		1					
	分析化学特論Ⅴ	1後		2			1				
	分析化学特論Ⅵ	2前		2			1				
	小計(11科目)	—	0	22	0	6	4	0	0	0	0

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
理工融合教育科目	先端科学科目 科学技術と社会Ⅰ	1・2・3前		1		2	1				兼5
	科学技術と社会Ⅱ	1・2・3後		1		3					兼5
	日本の先端科学Ⅱ	1・2・3通			2	1					
	科学技術英語特論	1・2・3通			2	1					
	小計(4科目)	—	0	2	4	6	1	0	0	0	兼10
	大学院教養教育科目 現代社会理解 A	1・2・3通		1							兼3
	現代社会理解 B	1・2・3通		1							兼1
	技術革新のための基礎科学	1・2・3通		1							兼3
	マネジメント概論	1・2・3通		1							兼7
	科学の歴史	1・2・3通		1							兼3
MOT特別教育科目	小計(5科目)	—	0	5	0	0	0	0	0	0	兼17
	MOT概論・基礎編	1前			1						兼1
	MOT概論・応用編	1前			1						兼1
	実践MOT	1後			2						兼1
	プロジェクトマネジメント	1後			1						兼3
	生産マネジメント	1後			1						兼2
	企業経営概論	1後			1						兼6
	ベンチャー企業論	1前			1						兼5
	小計(7科目)	—	0	0	8	0	0	0	0	0	兼15
共通科目	理学ゼミナール	1～3通		4		30	30		10		
	インターンシップⅡ	1・2・3通		2		1					
	特別プレゼンテーションⅡ	1・2・3通		2		30	30		10		
	小計(3科目)	—	0	8	0	30	30	0	10	0	0
数学コース科目	有限群論と組合せ構造	1・2・3前		2			1				
	解析数論	1・2・3前		2			1				
	表現論	1・2・3前		2		1					
	代数幾何学特論	1・2・3前		2			1				
	曲面論	1・2・3前		2			1				
	リーマン幾何学	1・2・3後		2			1				
	偏微分方程式論	1・2・3後		2		1					
	微分代数学	1・2・3前		2		1					
	大域解析学	1・2・3後		2		1		1			
	力学系特論A	1・2・3後		2			1				
物理科学コース科目	力学系特論B	1・2・3前		2		1					
	確率過程論	1・2・3後		2		1					
	小計(12科目)	—	0	24	0	6	6	0	0	0	0
	固体電子論C	1・2・3前		1		1					
	固体電子論D	1・2・3前		1		1					
	コンピュータ物理学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1					
	物性物理学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1					
	素粒子物理学	1・2・3前		2			1				
	宇宙物理学Ⅱ	1・2・3前		2			1				
	光物性特論	1・2・3後		2		1					
化学コース科目	3D活性サイト科学特論	1・2・3前		2		1					
	基礎物理特論	1・2・3前		2		1					
	超高速分光学特論	1・2・3前		2			1				
	微小領域物性特論	1・2・3前		2			1				
	高圧物性物理学特論Ⅱ	1・2・3後		2					1		
	小計(12科目)	—	0	22	0	6	4	0	1	0	0
	物理化学特論Ⅳ	1前		2			1				
	物理化学特論Ⅴ	1後		2			1				
	物理化学特論Ⅵ	2前		2		1					
	無機化学特論Ⅳ	1前		2		1					
専門科目	無機化学特論Ⅴ	1後		2			1				
	有機化学特論Ⅳ	1前		2		1					
	有機化学特論Ⅴ	1後		2		1					
	有機化学特論Ⅵ	2前		2		1					
	分析化学特論Ⅳ	1前		2		1					
	分析化学特論Ⅴ	1後		2			1				
	分析化学特論Ⅵ	2前		2			1				
	小計(11科目)	—	0	22	0	6	5	0	0	0	0

専門科目	地球環境科学コース科目	岩石反応学特論	1・2・3後		2				1			
		進化古生物学特論	1・2・3前		2			1				
		ジオモデリング	1・2・3後		2		1					
		表層環境変遷論特論	1・2・3後		2		1					
		地球物性学特論	1・2・3前		2		1					
		鉱物環境化学特論	1・2・3前		2		1					
		微生物学特論	1・2・3前		2			1				
		気候学特論	1・2・3前		2			1				
		地球環境解析学特論	1・2・3後		2			1				
		地殻変動特論	1・2・3後		2			1				
		同位体水文学特論	1・2・3後		2			1				
		海洋火山学	1・2・3後		2			1				
		流域環境科学特論	1・2・3後		2			1				
		地球電磁気学特論	1・2・3後		2			1				
	小計(14科目)	—	0	28	0	4	9	0	1	0	0	
	生物科学コース科目	動物細胞学特論Ⅱ	1・2・3前		2			1				
		動物生理学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1					
		動物工学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1				
		発生生物学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1				
		分子遺伝学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1					
		分子細胞生物学特論Ⅱ	1・2・3前		2		1					
		生化学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1				
		植物分子生物学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1					
		植物細胞学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1					
		植物遺伝学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1				
		系統分類学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1					
		行動進化学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1					
		保全生物学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1				
		自然誌科学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1				
		海洋生態・多様性学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1				
	小計(15科目)	—	0	30	0	7	8	0	0	0	0	
合計(83科目)			—	0	141	12	31	31	0	11	0	兼33
卒業要件及び履修方法												
修了要件は、後期課程に3年以上在学し、理工融合教育科目および専門科目の選択科目から12単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を所定の手続きに従って提出し、学位論文の審査、ならびに口頭試問による最終試験に合格することである。 なお、理工融合教育科目の大学院教養教育科目については、1単位のみ修了要件単位として認める。												

専 門 科 目	地 球 環 境 科 学 こ う す 科 目	岩石反応学特論	1・2・3後		2					1			
		進化古生物学特論	1・2・3前		2				1				
		ジオモデリング	1・2・3後		2		1						
		表層環境変遷論特論	1・2・3後		2		1						
		地球物性学特論	1・2・3前		2		1						
		鉱物環境化学特論	1・2・3前		2		1						
		微生物学特論	1・2・3前		2			1					
		気候学特論	1・2・3前		2			1					
		地球環境解析学特論	1・2・3後		2			1					
		地殻変動特論(未開講)	1・2・3後		2			1					
		同位体水文学特論	1・2・3後		2			1					
		海洋火山学	1・2・3後		2			1					
		流域環境科学特論	1・2・3後		2			1					
		地球電磁気学特論	1・2・3後		2			1					
	小計(14科目)			—	0	28	0	4	8	0	1	0	0
	生 物 科 学 こ う す 科 目	動物細胞学特論Ⅱ	1・2・3前		2			1					
		動物生理学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
		動物工学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1					
		発生生物学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1					
		分子遺伝学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
		分子細胞生物学特論Ⅱ	1・2・3前		2		1						
		生化学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1					
		植物分子生物学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
		植物細胞学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
		植物遺伝学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1					
		系統分類学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
		行動進化学特論Ⅱ	1・2・3後		2		1						
		保全生物学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1					
		自然科学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1					
		海洋生態・多様性学特論Ⅱ	1・2・3後		2			1					
	小計(15科目)			—	0	30	0	7	8	0	0	0	0
合計(83科目)			—	0	141	12	31	30	0	10	0	兼36	
卒業要件及び履修方法													
修了要件は、後期課程に3年以上在学し、理工融合教育科目および専門科目の選択科目から12単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を所定の手続きに従って提出し、学位論文の審査、ならびに口頭試問による最終試験に合格することである。 なお、理工融合教育科目の大学院教養教育科目については、1単位のみ修了要件単位として認める。													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・カリキュラム編成の調整により、「科学技術と社会Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2」「兼4」から「准教授1」「兼5」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「科学技術と社会Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」「兼4」から「教授3」「兼5」に変更。
- ・誤謬のため、「日本の先端科学Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・誤謬のため、「科学技術英語特論」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「現代社会理解A」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「技術革新のための基礎科学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「マネジメント概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「科学の歴史」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「MOT概論・基礎編」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「プロジェクトマネジメント」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「企業経営概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「理学ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授28」「准教授32」から「教授29」「准教授31」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「特別プレゼンテーションⅡ」の専任教員等の配置を「教授28」「准教授32」から「教授29」「准教授31」に変更。
- ・担当教員の転出により、「解析数論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「物理化学特論Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「物理化学特論Ⅵ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員の退職により、「現代社会理解A」の専任教員等の配置を「教授1」「兼2」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「プロジェクトマネジメント」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「生産マネジメント」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員の昇任及び転出により、「理学ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授29」「准教授31」「助教11」から「教授30」「准教授30」「助教10」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「特別プレゼンテーションⅡ」の専任教員等の配置を「教授29」「准教授31」「助教11」から「教授30」「准教授30」「助教10」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「物理化学特論Ⅳ」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「有機化学特論Ⅵ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

【令和2年度】

- ・教育上の効果を高めるため、「現代社会理解B」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「技術革新のための基礎科学」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼7」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「マネジメント概論」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「MOT概論・応用編」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「生産マネジメント」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「企業経営概論」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼4」に変更。
- ・担当教員の昇任及び就任により、「理学ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授30」「准教授30」「助教10」から「教授38」「准教授32」「助教12」に変更。
- ・担当教員の昇任及び就任により、「特別プレゼンテーションⅡ」の専任教員等の配置を「教授30」「准教授30」「助教10」から「教授38」「准教授32」「助教12」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「有限群論と組合せ構造」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員の就任により、「無限次元表現論」を追加。
- ・専任教員の就任により、「複素幾何学」を追加。
- ・専任教員の就任により、「可換理論と代数多様体論」を追加。
- ・専任教員の就任により、「データ科学特論Ⅱ」を追加。
- ・専任教員の就任により、「第四紀学特論」を追加。
- ・担当教員の昇任により、「動物工学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「海洋生態・多様性学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	74 科目	9 科目	83 科目	0 科目 [0]	79 科目 [5]	9 科目 [0]	88 科目 [5]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	大域解析学	2	1・2・3後	専門	選択	カリキュラム編成の調整により、今年度は未開講とする。他に選択可能な科目が複数あるため、履修上の問題はなく代替措置は無。
2	確率過程論	2	1・2・3後	専門	選択	専任教員の転出により、今年度は未開講とする。他に選択可能な科目が複数あるため、履修上の問題はなく代替措置は無。
3	地殻変動特論	2	1・2・3後	専門	選択	専任教員の転出により、今年度は未開講とする。他に選択可能な科目が複数あるため、履修上の問題はなく代替措置は無。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 未開講となった3科目については、全て選択科目であり、全体的な教育の質の確保はできている。 ・ 学生への周知方法は、新入生ダイガンス時に授業時間割を配布し、授業時間割を自然科学教育部ホームページに掲載しているため、問題はない。
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{3}{83} = \boxed{3.61} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備考		
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計	放送大学熊本学習セ ンターとの共用623㎡ 地上権設定者：財団 法人熊本テクノポリ ス財団 地上権設定期間： H29. 9. 1から3年間 19,945㎡ 貸与者：熊本市 借用期間：H29. 4. 1か らH30. 3. 31（以降、 毎年度更新）494㎡ 貸与者：益城町 借用期間：H30. 10. 1 からR2. 9. 30（以降、 毎年度更新）331㎡		
	校 舎 敷 地	475, 024 (20, 770) ㎡	623㎡	0㎡		475, 647 (20, 770) ㎡			
	運動場用地	39, 752 (0) ㎡	0㎡	0㎡		39, 752 (0) ㎡			
	小 計	514, 776 (20, 770) ㎡	623㎡	0㎡		515, 399 (20, 770) ㎡			
	そ の 他	144, 293 (0) ㎡	0㎡	0㎡		144, 293 (0) ㎡			
	合 計	659, 069 (20, 770) ㎡	623㎡	0㎡		659, 692 (20, 770) ㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計	放送大学熊本学習セ ンターの専用1,112㎡		
		457, 740㎡ (457, 740㎡)	0㎡ (0㎡)	1, 112㎡ (1, 112㎡)		458, 852㎡ (458, 852㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		122室	90室	1, 206室	9室 (補助職員 6人)	13室 (補助職員 3人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		専任教員の退職、転出及 び採用のため（2）		
		自然科学教育部 理学専攻			71 73 室				
(5)	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
		大学全体	1, 255, 975 [482, 340] (1, 255, 975 [482, 340])	21, 266 [7, 207] (21, 266 [7, 207])	17, 031 [15, 706] (17, 031 [15, 706])	2, 184 (2, 184)	67, 684 (67, 684)		35 (35)
		計	1, 255, 975 [482, 340] (1, 255, 975 [482, 340])	21, 266 [7, 207] (21, 266 [7, 207])	17, 031 [15, 706] (17, 031 [15, 706])	2, 184 (2, 184)	67, 684 (67, 684)		35 (35)
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		12, 347㎡		936		1, 035, 084			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		8, 245 ㎡		陸上競技場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート 等					
(8)	経費の 見積り及び 維持方法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当り 研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
	千円		千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	熊 本 大 学										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
【学部】	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
文学部	4	170	10	700		1.06	1.05	-		熊本県熊本市中央区黒髪2 丁目40番1号	
総合人間学科	4	55	-	220	学士 (文学)	1.03	1.01	-	平成17年度	同上	
歴史学科	4	35	-	140	学士 (文学)	1.07	1.05	-	平成17年度	同上	
文学科	4	50	-	200	学士 (文学)	0.96	0.94	-	平成17年度	同上	
コミュニケーション情報学科	4	30	-	120	学士 (文学)	1.27	1.33	-	平成17年度	同上	
学部共通			3年次 10	20	学士 (文学)	-	-	-	平成11年度	同上	
教育学部	4	230	-	920		1.06	1.05	-		熊本県熊本市中央区黒髪2 丁目40番1号	
小学校教員養成課程	4	110	-	440	学士 (教育学)	1.02	1.01	-	昭和24年度	同上	
中学校教員養成課程	4	70	-	280	学士 (教育学)	1.12	1.11	-	昭和24年度	同上	
特別支援教育教員 養成課程	4	20	-	80	学士 (教育学)	1.11	1.05	-	平成19年度	同上	
養護教諭養成課程	4	30	-	120	学士 (教育学)	1.04	1.03	-	昭和52年度	同上	
法学部	4	210	10	860		1.02	1.01	-		熊本県熊本市中央区黒髪2 丁目40番1号	
法学科	4	210	-	840	学士 (法学)	1.02	1.01	-	平成16年度	同上	
学部共通			3年次 10	20	学士 (法学)	-	-	-	平成12年度	同上	
理学部	4	200	-	800		1.02	1.02	-		熊本県熊本市中央区黒髪2 丁目39番1号	
理学科	4	200	-	800	学士 (理学)	1.02	1.02	-	平成16年度	同上	
医学部											
医学科	6	110	-	685	学士 (医学)	1.00	1.00	令和2年度	昭和24年度	熊本県熊本市中央区本荘1 丁目1番1号	定員変更（△5）
保健学科	4	144	-	576	学士（看護 学、保健 学）	1.02	1.01	-	平成15年度	熊本県熊本市中央区九品寺 4丁目24番1号	
保健学科共通			3年次 16	32	学士（看護 学、保健 学）	-	-	-	平成18年度	同上	
薬学部											
薬学科	6	55	-	330	学士 (薬学)	1.02	1.03	-	平成18年度	熊本市中央区大江北町5番 1号	
創薬・生命薬科学科	4	35	-	140	学士（創薬科 学、生命薬科 学）	1.05	1.08	-	平成18年度	同上	
工学部	4	513	45	1584		1.02	1.01	-		熊本県熊本市中央区黒髪2 丁目39番1号	
土木建築学科	4	124	3年次 10	382	学士 (工学)	1.04	1.02	-	平成30年度	同上	
機械数理工学科	4	109	3年次 10	337	学士 (工学)	1.01	0.99	-	平成30年度	同上	
情報電気工学科	4	149	3年次 20	467	学士 (工学)	1.03	1.03	-	平成30年度	同上	
材料・応用化学科	4	131	3年次 5	398	学士 (工学)	1.01	1.01	-	平成30年度	同上	
物質生命化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
マテリアル工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
機械システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
社会環境工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
建築学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
情報電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止

数理工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
学部共通			3年次 -	-	学士 (工学)	-	-	-	平成10年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院教育学研究科 (修士課程)											
学校教育実践専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	平成21年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	令和2年より学生募集停止
教科教育実践専攻 (専門職学位課程)	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	平成21年度	同上	令和2年より学生募集停止
教職実践開発専攻	2	30	-	45	教職修士 (専門職)	1.09	0.93	-	平成29年度	同上	研究科の専攻の設置(事前伺い)
大学院社会文化科学教育部 (博士前期課程)											
法政・紛争解決学専攻	2	25	-	44	修士 (法学、公共政策学、学術)	0.50	0.60	-	令和元年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
公共政策学専攻	2	-	-	-	修士 (公共政策学、学術)	-	-	-	平成20年度	同上	平成31年より学生募集停止
法学専攻	2	-	-	-	修士 (法学)	-	-	-	平成20年度	同上	平成31年より学生募集停止
現代社会人間学専攻	2	18	-	36	修士 (文学、法学、学術)	1.08	1.16	-	平成20年度	同上	
文化学専攻	2	18	-	36	修士 (文学、学術)	1.10	1.05	-	平成20年度	同上	
教授システム学専攻	2	15	-	30	修士 (教授システム学、学術)	1.16	1.13	-	平成20年度	同上	
(博士後期課程)											
人間・社会科学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、法学、公共政策学、学術)	0.94	1.33	-	平成20年度	同上	
文化学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、学術)	0.27	0.16	-	平成20年度	同上	
教授システム学専攻	3	3	-	9	博士 (学術)	1.11	1.00	-	平成20年度	同上	
大学院自然科学教育部											
(博士前期課程)											
理学専攻	2	110	-	220	修士 (理学、学術)	0.76	0.73	-	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	
土木建築学専攻	2	75	-	150	修士 (工学、学術)	1.15	1.13	-	平成30年度	同上	
機械数理工学専攻	2	65	-	130	修士 (工学、学術)	1.21	1.23	-	平成30年度	同上	
情報電気工学専攻	2	103	-	206	修士 (工学、学術)	1.05	1.04	-	平成30年度	同上	
材料・応用化学専攻	2	90	-	180	修士 (工学、学術)	0.98	0.97	-	平成30年度	同上	
(博士後期課程)											
理学専攻	3	12	-	36	博士 (理学、学術)	0.82	0.66	-	平成30年度	同上	
工学専攻	3	46	-	138	博士 (工学、学術)	0.58	0.39	-	平成30年度	同上	
大学院自然科学研究科 (博士前期課程)											
理学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、学術)	-	-	-	平成18年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	平成30年より学生募集停止
数学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、学術)	-	-	-	平成22年度	同上	平成30年より学生募集停止
建築学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
(博士後期課程)											
理学専攻	3	-	-	-	博士 (理学、学術)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
複合新領域科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学、工学、学術)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
産業創造工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
環境共生工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院医学教育部 (修士課程)											

医科学専攻 (博士課程)	2	20	-	40	修士 (医科学、健康生命科学)	0.92	1.00	-	平成15年度	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号
医学専攻	4	88	-	352	博士 (医学、生命科学、健康生命科学)	0.83	0.71	-	平成20年度	同上
大学院保健学教育部 (博士前期課程)										
保健学専攻 (博士後期課程)	2	24	-	48	修士 (保健学、看護学)	0.93	1.08	-	平成22年度	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目24番1号
保健学専攻	3	6	-	18	博士 (保健学、看護学)	1.00	1.00	-	平成22年度	同上
大学院薬学教育部 (博士前期課程)										
創薬・生命薬科学専攻 (博士後期課程)	2	35	-	70	修士 (薬科学、健康生命科学)	1.00	1.00	-	平成22年度	熊本市中央区大江本町5番1号
創薬・生命薬科学専攻 (博士課程)	3	10	-	30	博士 (薬科学、生命科学、健康生命科学)	1.26	1.00	-	平成24年度	同上
医療薬学専攻	4	8	-	32	博士 (薬学)	0.81	1.00	-	平成24年度	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部・学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<自然科学教育部 理学専攻（博士後期課程）>

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	赤井 一郎 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	赤井 一郎 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	赤井 一郎 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	赤井 一郎 <平成30年4月> 博士(理学)
		科学技術と社会Ⅰ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 光物性特論			科学技術と社会Ⅰ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 光物性特論			科学技術と社会Ⅰ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 光物性特論			科学技術と社会Ⅰ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 光物性特論
専	教授	安仁屋 勝 <平成30年4月> 学術博士	専	教授	安仁屋 勝 <平成30年4月> 学術博士	専	教授	安仁屋 勝 <平成30年4月> 学術博士	専	教授	安仁屋 勝 <平成30年4月> 学術博士
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 物性物理学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 物性物理学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 物性物理学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 物性物理学特論Ⅱ
専	教授	磯部 博志 <平成30年4月> 理学博士	専	教授	磯部 博志 <平成30年4月> 理学博士	専	教授	磯部 博志 <平成30年4月> 理学博士	専	教授	磯部 博志 <平成30年4月> 理学博士
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 応用環境化学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 応用環境化学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 応用環境化学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 応用環境化学特論
専	教授	市川 聡夫 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	市川 聡夫 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	市川 聡夫 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	市川 聡夫 <平成30年4月> 博士(理学)
		科学技術と社会Ⅰ インターンシップⅡ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 固体電子論C 固体電子論D			科学技術と社会Ⅰ インターンシップⅡ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 固体電子論C 固体電子論D			科学技術と社会Ⅰ インターンシップⅡ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 固体電子論C 固体電子論D			科学技術と社会Ⅰ インターンシップⅡ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 固体電子論C 固体電子論D
専	教授	入江 亮 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	入江 亮 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	入江 亮 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	入江 亮 <平成30年4月> 博士(理学)
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 有機化学特論Ⅴ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 有機化学特論Ⅴ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 有機化学特論Ⅴ			科学技術と社会Ⅱ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 有機化学特論Ⅴ
専	教授	岸田 光代 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	岸田 光代 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	岸田 光代 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	岸田 光代 <平成30年4月> 博士(理学)
		日本の先端科学Ⅱ 科学技術実証特論 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ			日本の先端科学Ⅱ 科学技術実証特論 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ			日本の先端科学Ⅱ 科学技術実証特論 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ			日本の先端科学Ⅱ 科学技術実証特論 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ
専	教授	小出 真路 <平成30年4月> 理学博士	専	教授	小出 真路 <平成30年4月> 理学博士	専	教授	小出 真路 <平成30年4月> 理学博士	専	教授	小出 真路 <平成30年4月> 理学博士
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 基礎物理特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 基礎物理特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 基礎物理特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 基礎物理特論
専	教授	斉藤 寿仁 <平成30年4月> 農学博士	専	教授	斉藤 寿仁 <平成30年4月> 農学博士	専	教授	斉藤 寿仁 <平成30年4月> 農学博士	専	教授	斉藤 寿仁 <平成30年4月> 農学博士
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 分子細胞生物学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 分子細胞生物学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 分子細胞生物学特論Ⅱ			科学技術と社会Ⅱ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 分子細胞生物学特論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	澤 進一郎 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	澤 進一郎 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	澤 進一郎 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	澤 進一郎 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 植物分子生物学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 植物分子生物学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 植物分子生物学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 植物分子生物学特論Ⅱ
専	教授	渋谷 秀敏 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	教授	渋谷 秀敏 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	教授	渋谷 秀敏 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	教授	渋谷 秀敏 ＜平成30年4月＞ 理学博士
		科学技術と社会Ⅱ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ ジオモデリング			科学技術と社会Ⅱ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ ジオモデリング			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ ジオモデリング			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ ジオモデリング
専	教授	下條 冬樹 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	下條 冬樹 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	下條 冬樹 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	下條 冬樹 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ コンピュータ物理学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ コンピュータ物理学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ コンピュータ物理学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ コンピュータ物理学特論Ⅱ
専	教授	舘見 直哉 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	舘見 直哉 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	舘見 直哉 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	舘見 直哉 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 力学系特論B			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 力学系特論B			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 力学系特論B			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 力学系特論B
専	教授	副島 顕子 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	副島 顕子 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	副島 顕子 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	副島 顕子 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 系統分類学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 系統分類学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 系統分類学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 系統分類学特論Ⅱ
専	教授	高野 博嘉 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	高野 博嘉 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	高野 博嘉 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	高野 博嘉 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 植物細胞学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 植物細胞学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 植物細胞学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 植物細胞学特論Ⅱ
専	教授	高宮 正之 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	教授	高宮 正之 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	教授	高宮 正之 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	教授	高宮 正之 ＜平成30年4月＞ 理学博士
		科学技術と社会Ⅱ			科学技術と社会Ⅱ			科学技術と社会Ⅱ			科学技術と社会Ⅱ
専	教授	高宗 和史 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	教授	高宗 和史 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	教授	高宗 和史 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	教授	高宗 和史 ＜平成30年4月＞ 理学博士
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 動物生理学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 動物生理学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 動物生理学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 動物生理学特論Ⅱ
専	教授	田邊 力 ＜令和2年4月＞ 理学博士	専	教授	田邊 力 ＜令和2年4月＞ 理学博士	専	教授	田邊 力 ＜令和2年4月＞ 理学博士	専	教授	田邊 力 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	谷 時雄 <平成30年4月> 理学博士	専	教授	谷 時雄 <平成30年4月> 理学博士	専	教授	谷 時雄 <平成30年4月> 理学博士	専	教授	谷 時雄 <平成30年4月> 理学博士
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 分子遺伝学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 分子遺伝学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 分子遺伝学特論Ⅱ			科学技術と社会Ⅰ インターナショナルⅡ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 分子遺伝学特論Ⅱ
専	教授		専	教授		専	教授		専	教授	千吉良 直紀 <平成30年4月> 博士(理学)
											理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 有限群論と組合せ構造
専	教授	戸田 敬 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	戸田 敬 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	戸田 敬 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	戸田 敬 <平成30年4月> 博士(理学)
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 分析化学特論Ⅳ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 分析化学特論Ⅳ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 分析化学特論Ⅳ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 分析化学特論Ⅳ
専	教授		専	教授		専	教授		専	教授	中川 義家 <令和2年4月> 博士(理学)
											理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 数素数何学
専	教授	西野 宏 <平成30年4月> 理学博士	専	教授	西野 宏 <平成30年4月> 理学博士	専	教授	西野 宏 <平成30年4月> 理学博士	専	教授	西野 宏 <平成30年4月> 理学博士
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 有機化学特論Ⅳ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 有機化学特論Ⅳ			科学技術と社会Ⅱ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 有機化学特論Ⅳ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 有機化学特論Ⅳ
専	教授		専	教授		専	教授		専	教授	
専	教授	濱名 裕治 <平成30年4月> 数理学博士	専	教授	濱名 裕治 <平成30年4月> 数理学博士	専	教授	濱名 裕治 <平成30年4月> 数理学博士	専	教授	
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 確率過程論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 確率過程論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 確率過程論			
専	教授	速水 真也 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	速水 真也 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	速水 真也 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	速水 真也 <平成30年4月> 博士(理学)
		科学技術と社会Ⅱ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 無機化学特論Ⅳ			科学技術と社会Ⅱ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 無機化学特論Ⅳ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 無機化学特論Ⅳ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 無機化学特論Ⅳ
専	教授	原岡 喜重 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	原岡 喜重 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	原岡 喜重 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	原岡 喜重 <平成30年4月> 博士(理学)
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 微分代数学 大域解析学			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 微分代数学 大域解析学			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 微分代数学 大域解析学			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 微分代数学
専	教授	藤本 斉 <平成30年4月> 理学博士	専	教授	藤本 斉 <平成30年4月> 理学博士	専	教授	藤本 斉 <平成30年4月> 理学博士	専	教授	藤本 斉 <平成30年4月> 理学博士
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 物理化学特論Ⅴ 物理化学特論Ⅴ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 物理化学特論Ⅴ 物理化学特論Ⅴ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 物理化学特論Ⅴ 物理化学特論Ⅴ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 物理化学特論Ⅴ 物理化学特論Ⅴ
専	教授	造見 泰久 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	造見 泰久 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	造見 泰久 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	造見 泰久 <平成30年4月> 博士(理学)
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 行動進化化学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 行動進化化学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 行動進化化学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 行動進化化学特論Ⅱ
専	教授	細川 伸也 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	細川 伸也 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	細川 伸也 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	細川 伸也 <平成30年4月> 博士(理学)
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 3D活性サイト科学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 3D活性サイト科学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 3D活性サイト科学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 3D活性サイト科学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	松田 博貴 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	教授	松田 博貴 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	教授	松田 博貴 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	教授	松田 博貴 ＜平成30年4月＞ 理学博士
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 表層環境変遷論特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 表層環境変遷論特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 表層環境変遷論特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 表層環境変遷論特論
専	教授	三沢 正史 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	三沢 正史 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	三沢 正史 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	三沢 正史 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 偏微分方程式論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 偏微分方程式論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 偏微分方程式論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 偏微分方程式論
専	教授	山田 裕史 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	山田 裕史 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	山田 裕史 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	教授	山田 裕史 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 表現論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 表現論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 表現論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 表現論
専	教授	吉朝 朗 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	教授	吉朝 朗 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	教授	吉朝 朗 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	教授	吉朝 朗 ＜平成30年4月＞ 理学博士
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 地球物性学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 地球物性学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 地球物性学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 地球物性学特論
専	准教授	秋元 和寛 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	准教授	秋元 和寛 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	准教授	秋元 和寛 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	准教授	秋元 和寛 ＜平成30年4月＞ 理学博士
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 微古生物学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 微古生物学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 微古生物学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 微古生物学特論
専	准教授	阿部 健 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	阿部 健 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	阿部 健 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	阿部 健 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 代数学同学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 代数学同学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 代数学同学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 代数学同学特論
専	准教授	安藤 直也 ＜平成30年4月＞ 博士（数理科学）	専	准教授	安藤 直也 ＜平成30年4月＞ 博士（数理科学）	専	准教授	安藤 直也 ＜平成30年4月＞ 博士（数理科学）	専	准教授	安藤 直也 ＜平成30年4月＞ 博士（数理科学）
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 曲面論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 曲面論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 曲面論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 曲面論
専	准教授	一柳 錦平 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	一柳 錦平 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	一柳 錦平 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	一柳 錦平 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 同位体水文学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 同位体水文学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 同位体水文学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 同位体水文学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	石川 勇人 ＜平成30年4月＞ 博士（薬学）	専	准教授	石川 勇人 ＜平成30年4月＞ 博士（薬学）						
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 有機化学特論Ⅵ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 有機化学特論Ⅵ						
専	准教授	伊豆田 俊二 ＜平成30年4月＞ 薬学博士	専	准教授	伊豆田 俊二 ＜平成30年4月＞ 薬学博士	専	准教授	伊豆田 俊二 ＜平成30年4月＞ 薬学博士	専	准教授	伊豆田 俊二 ＜平成30年4月＞ 薬学博士
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 生化学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 生化学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 生化学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 生化学特論Ⅱ
専	准教授	江頭 恒 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	専	准教授	江頭 恒 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	専	准教授	江頭 恒 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	専	准教授	江頭 恒 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 動物細胞学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 動物細胞学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 動物細胞学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 動物細胞学特論Ⅱ
専	准教授	大平 慎一 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	大平 慎一 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	大平 慎一 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	大平 慎一 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 分析化学特論Ⅴ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 分析化学特論Ⅴ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 分析化学特論Ⅴ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 分析化学特論Ⅴ
専	准教授	尾上 哲治 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	尾上 哲治 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）						
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 地殻変動特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 地殻変動特論						
専	准教授	北野 健 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	北野 健 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	北野 健 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	北野 健 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 動物工学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 動物工学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 動物工学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 動物工学特論Ⅱ
専	准教授	北別府 悠 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	北別府 悠 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	北別府 悠 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	北別府 悠 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		科学技術と社会Ⅰ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ リーマン幾何学			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ リーマン幾何学			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ リーマン幾何学			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ リーマン幾何学
専	准教授	小島 知子 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	小島 知子 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	小島 知子 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	小島 知子 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 地球環境解析学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 地球環境解析学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 地球環境解析学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 地球環境解析学特論
専	准教授	小澄 大輔 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	小澄 大輔 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	小澄 大輔 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	小澄 大輔 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 超高速分光学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 超高速分光学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 超高速分光学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 超高速分光学特論

22

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	成田 宏秋 ＜平成30年4月＞ 博士（数理学）									
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 解析数論									
専	准教授	原 正大 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	原 正大 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	原 正大 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	原 正大 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 微小領域物性特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 微小領域物性特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 微小領域物性特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 微小領域物性特論
専	准教授	藤井 紀行 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	藤井 紀行 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	藤井 紀行 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	藤井 紀行 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 自然科学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 自然科学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 自然科学特論Ⅱ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 自然科学特論Ⅱ
専	准教授	細野 高啓 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	細野 高啓 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	細野 高啓 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	細野 高啓 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 流域環境科学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 流域環境科学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 流域環境科学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 流域環境科学特論
専	准教授	松田 真生 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）									
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 物理化学特論Ⅵ									
専	准教授	望月 伸竜 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	望月 伸竜 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	望月 伸竜 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	望月 伸竜 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		科学技術と社会Ⅱ 理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 地球電磁気学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 地球電磁気学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 地球電磁気学特論			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 地球電磁気学特論
専	准教授	矢嶋 哲 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	准教授	矢嶋 哲 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	准教授	矢嶋 哲 ＜平成30年4月＞ 理学博士	専	准教授	矢嶋 哲 ＜平成30年4月＞ 理学博士
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 素粒子物理学			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 素粒子物理学			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 素粒子物理学			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 素粒子物理学
専	准教授	横瀬 久芳 ＜平成30年4月＞ 学術博士	専	准教授	横瀬 久芳 ＜平成30年4月＞ 学術博士	専	准教授	横瀬 久芳 ＜平成30年4月＞ 学術博士	専	准教授	横瀬 久芳 ＜平成30年4月＞ 学術博士
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 海洋火山学			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 海洋火山学			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 海洋火山学			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ 海洋火山学
専	助教	荒江 祥永 ＜平成30年4月＞ 博士（薬科学）	専	助教	荒江 祥永 ＜平成30年4月＞ 博士（薬科学）	専	助教	荒江 祥永 ＜平成30年4月＞ 博士（薬科学）	専	助教	荒江 祥永 ＜平成30年4月＞ 博士（薬科学）
		理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ			理学ゼミナール 特別プレゼンテーションⅡ

24

25

26

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	入江 英也 ＜平成30年4月＞ 経営学（修士）	兼任	講師	入江 英也 ＜平成30年4月＞ 経営学（修士）	兼任	講師	入江 英也 ＜平成30年4月＞ 経営学（修士）	兼任	講師	入江 英也 ＜平成30年4月＞ 経営学（修士）
		ベンチャー企業論			ベンチャー企業論			ベンチャー企業論			ベンチャー企業論
									兼任	講師	謝永 賢夫 ＜令和2年10月＞ 博士（理学）
											技術革新のための基礎科学
									兼任	講師	Wetula, Leopold ＜令和2年1月＞ 法務博士、MBA
											現代社会理解B
									兼任	講師	Weitzien, Aloo ＜令和2年1月＞ 修士
											現代社会理解B
兼任	講師	大隈 恵治 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	大隈 恵治 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	大隈 恵治 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	大隈 恵治 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		現代社会理解A MOT概論・基礎編			現代社会理解A 企業経営概論			現代社会理解A 企業経営概論			現代社会理解A
									兼任	講師	片岡 直行 ＜令和元年11月＞ 博士（理学）
											技術革新のための基礎科学
			兼任	講師	加藤 文元 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	兼任	講師	加藤 文元 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	兼任	講師	加藤 文元 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
					科学の歴史			科学の歴史			科学の歴史
			兼任	講師	川人 崇 ＜平成30年10月＞ 博士（学術）	兼任	講師	川人 崇 ＜平成30年10月＞ 博士（学術）	兼任	講師	川人 崇 ＜平成30年10月＞ 博士（学術）
					マネジメント概論			マネジメント概論			マネジメント概論
兼任	講師	来海 和彦 ＜平成30年4月＞ 博士（薬学）	兼任	講師	来海 和彦 ＜平成30年10月＞ 博士（薬学）	兼任	講師	来海 和彦 ＜平成30年10月＞ 博士（薬学）	兼任	講師	
		MOT概論・基礎編			企業経営概論			企業経営概論			
			兼任	講師	釘宮 賢也 ＜平成30年10月＞ 博士（工学）	兼任	講師	釘宮 賢也 ＜平成30年10月＞ 博士（工学）	兼任	講師	
					企業経営概論			企業経営概論			
						兼任	講師	草野 秀樹 ＜平成30年10月＞ 修士（デザイン工学）	兼任	講師	草野 秀樹 ＜平成30年10月＞ 修士（デザイン工学）
								マネジメント概論 プロジェクトマネジメント			プロジェクトマネジメント
									兼任	講師	藤田 英司 ＜令和2年10月＞ 学士（社会学）
											企業経営概論
兼任	講師	小間 裕康 ＜平成30年4月＞ MBA	兼任	講師	小間 裕康 ＜平成30年4月＞ MBA	兼任	講師	小間 裕康 ＜平成30年4月＞ MBA	兼任	講師	小間 裕康 ＜平成30年4月＞ MBA
		ベンチャー企業論			ベンチャー企業論			ベンチャー企業論			ベンチャー企業論
									兼任	講師	Cheryl Lynn Amee ＜令和元年8月＞ Ph.D. Biological Sciences
											技術革新のための基礎科学
			兼任	講師	寺藤 健士 ＜平成30年10月＞ 博士（工学）	兼任	講師	寺藤 健士 ＜平成30年10月＞ 博士（工学）	兼任	講師	
					企業経営概論			企業経営概論			
									兼任	講師	正田 英樹 ＜令和2年10月＞ 学士（情報工学）
											企業経営概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月> 博士(哲学)	兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月> 博士(哲学)	兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月> 博士(哲学)	兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月> 博士(哲学)
		科学の歴史			科学の歴史			科学の歴史			科学の歴史
兼任	講師	瀬戸 康雄 <平成30年4月> 農学博士	兼任	講師	瀬戸 康雄 <平成30年4月> 農学博士	兼任	講師	瀬戸 康雄 <平成30年4月> 農学博士	兼任	講師	瀬戸 康雄 <平成30年4月> 農学博士
		マネジメント概論 MOT概論・基礎編 MOT概論・応用編 実践MOT プロジェクトマネジメント 企業経営概論			技術革新のための基礎科学 マネジメント概論 MOT概論・基礎編 MOT概論・応用編 実践MOT プロジェクトマネジメント 企業経営概論			技術革新のための基礎科学			技術革新のための基礎科学
			兼任	講師	田子 学 <平成30年10月> 修士(デザイン)			田子 学 <平成30年10月> 修士(デザイン)	兼任	講師	田子 学 <平成30年10月> 修士(デザイン)
					マネジメント概論 プロジェクトマネジメント			マネジメント概論 プロジェクトマネジメント			プロジェクトマネジメント 生産マネジメント
兼任	講師	中野 恭子 <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	講師	中野 恭子 <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	講師	中野 恭子 <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	講師	中野 恭子 <平成30年4月> 博士(学術)
		現代社会理解B			現代社会理解B			現代社会理解B			現代社会理解B
兼任	講師	納富 貞嘉 <平成30年4月> 修士	兼任	講師	納富 貞嘉 <平成30年4月> 修士	兼任	講師	納富 貞嘉 <平成30年4月> 修士	兼任	講師	納富 貞嘉 <平成30年4月> 修士
		ベンチャー企業論			ベンチャー企業論			ベンチャー企業論			ベンチャー企業論
兼任	講師	藤井 健太郎 <平成30年4月> 学士(工学)	兼任	講師	藤井 健太郎 <平成30年4月> 学士(工学)	兼任	講師	藤井 健太郎 <平成30年4月> 学士(工学)	兼任	講師	藤井 健太郎 <平成30年4月> 学士(工学)
		ベンチャー企業論			ベンチャー企業論			ベンチャー企業論			ベンチャー企業論
			兼任	講師	古黒 弘 <平成30年10月> 博士(工学)			古黒 弘 <平成30年10月> 博士(工学)			
					マネジメント概論 企業経営概論			マネジメント概論 企業経営概論			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					JOSEP-LLUIS BARONA-VILAR ＜平成30年10月＞ Licenciado en Medicina y Cirugía/ Medicine & Surgery 科学の歴史			JOSEP-LLUIS BARONA-VILAR ＜平成30年10月＞ Licenciado en Medicina y Cirugía/ Medicine & Surgery 科学の歴史			JOSEP-LLUIS BARONA-VILAR ＜平成30年10月＞ Licenciado en Medicina y Cirugía/ Medicine & Surgery 科学の歴史
兼任	講師	前川 幸二 ＜平成30年10月＞ なし	兼任	講師	前川 幸二 ＜平成30年10月＞ なし	兼任	講師	前川 幸二 ＜平成30年10月＞ なし			
		生産マネジメント			生産マネジメント			生産マネジメント			
兼任	講師	松尾 洋 ＜平成30年4月＞ 教育学修士	兼任	講師	松尾 洋 ＜平成30年4月＞ 教育学修士	兼任	講師	松尾 洋 ＜平成30年4月＞ 教育学修士	兼任	講師	松尾 洋 ＜平成30年4月＞ 教育学修士
		MOT概論・基礎編 ベンチャー企業論			現代社会理解A ベンチャー企業論			現代社会理解A ベンチャー企業論			現代社会理解A ベンチャー企業論
									兼任	講師	森戸 裕一 ＜令和2年10月＞ 学士（教育学） 企業経営概論
									兼任	講師	安元 豪裕 ＜令和2年10月＞ 学士（工学） プロジェクトマネジメント
			兼任	講師	吉永 純一 ＜平成30年10月＞ 工学修士 マネジメント概論						
			兼任	講師	Robert Geoffrey Dörnyei ＜平成30年4月＞ BA/MA Philosophy; MA TESOL & Applied Linguistics; MA International Relations マネジメント概論	兼任	講師	Robert Geoffrey Dörnyei ＜平成30年4月＞ BA/MA Philosophy; MA TESOL & Applied Linguistics; MA International Relations マネジメント概論	兼任	講師	Robert Geoffrey Dörnyei ＜平成30年4月＞ BA/MA Philosophy; MA TESOL & Applied Linguistics; MA International Relations マネジメント概論
			兼任	講師	Laura Huston ＜平成30年8月＞ Master's of Science in Education (TESOL) 技術革新のための基礎科学	兼任	講師	Laura Huston ＜平成30年8月＞ Master's of Science in Education (TESOL) 技術革新のための基礎科学			
									兼任	講師	渡辺 孝博 ＜令和2年10月＞ 修士（経営学） 企業経営概論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て（兼任・兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実（実）、実（実））、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・昇任により、平成30年2月から松田真生准教授を教授に変更。
- ・成田宏秋准教授転出により、平成30年1月から谷本祥准教授に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、平成30年4月高宮正之教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、平成30年4月長谷中利明教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、北別府悠准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、中村政明准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、望月伸竜准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月伊田進太郎教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月宇佐川毅教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月森和也教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、山成寛教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、オノ木敦士准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、坂田真砂代准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、水本郁朗准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月山口信助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月磯村大成講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、大隈恵治講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月加藤文元講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月川人紫講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月釘宮哲也講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、来海和彦講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月春藤龍士講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、瀬戸康雄講師の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月田子学講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月古屋弘講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月JOSEP-LLUIS BARONA-VILAR講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、松尾洋講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月吉永純一講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月Robert Geoffrey Dormer講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年8月Laura Huston講師就任予定。

【令和元年度】

- ・昇任により、平成30年10月から石川勇人准教授を教授に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、渋谷秀敏教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、平成31年4月瀧尾進教授就任。
- ・定年退職により、高宮正之教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、西野宏教授の担当科目を追加。
- ・定年退職により、平成31年4月から長谷中利昭教授を講師に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、速水真也教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、吉朝朗教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、平成31年3月上田顕准教授就任。
- ・他大学への転出により、尾上哲治准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、杉崎文亮准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、谷本祥准教授の担当科目を追加。
- ・他大学への転出により、大谷亮助教の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月有次正義教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月池上知顕教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、伊田進太郎教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月金大弘教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、佐久川貴志教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月高橋浩一教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、高島和希教授の担当科目を変更。
- ・定年退職により、當舎利行教授を講師に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、オノ木敦士准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、坂田真砂代准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月杉本学准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月藤見俊夫准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、松田俊郎准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月吉本惣一郎准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月草野秀樹講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月瀬戸英昭講師就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、瀬戸康雄講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、吉永純一講師の担当科目を変更。

【令和2年度】

- ・教育上の効果を高めるため、令和2年4月相田光宏教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年4月田邊力教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年4月中川泰宏教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年4月松田和博教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年4月宮崎誓教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年4月宮縁育夫教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年4月川節和哉准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年4月岸木敬太准教授就任。
- ・昇任により、令和元年9月から北野 健准教授を教授に変更。
- ・昇任により、令和2年4月から嶋永元裕准教授を教授に変更。
- ・昇任により、令和2年4月から千吉良直紀准教授を教授に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年4月檜垣匠准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年4月村田貴広准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年4月榎原幸二准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年4月石田喬志助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年3月島村孝平助教就任。
- ・定年退職により、瀧尾 進教授の担当科目を変更。
- ・他大学への転出により、濱名裕治教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、市川総夫教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、入江亮教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、斉藤寿仁教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、谷時夫教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、西野宏教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、原岡喜重教授の担当科目を変更。

- ・教育上の効果を高めるため、松田博貴教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、吉朝朗教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、有次正義教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、池上知顕教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、宇佐川毅教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月勝木淳教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月河村能人教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、金大弘教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、高橋浩一教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月趙華安教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月連川貞弘教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月西本昌彦教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月棕木俊文教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、杉本学准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月長谷川麻子准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和2年4月深港豪准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、藤見俊夫准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、吉本惣一郎准教授の担当科目を変更。

- ・カリキュラム編成の調整により、山口 信助教の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年10月有定裕晶講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年10月岩永哲夫講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年1月Wetula, Leopold講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年1月Weltzien, Alec講師就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、大隈恵治講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、令和元年11月片岡直行講師就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、来海和彦講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、釘宮哲也講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、草野秀樹講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年10月窪田英司講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、令和元年8月Cheryl Lynn Ames講師就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、春藤龍士講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年10月正田英樹講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年1月Zhang Guang-Ping講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年6月鈴木 拓講師就任予定。
- ・カリキュラム編成の調整により、瀬戸英昭講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、令和元年11月竹島伸一講師就任。

- ・カリキュラム編成の調整により、田子 学講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、當倉利行講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、令和元年6月名取はにわ講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年10月長谷直達講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年4月平山雄太講師就任予定。
- ・カリキュラム編成の調整により、古屋 弘講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、前川幸二講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年10月森戸裕一講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年10月安元章裕講師就任予定。
- ・カリキュラム編成の調整により、Laura Huston講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、令和2年10月渡辺孝信講師就任予定。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
28	32	0	11	71	0	38	32	0	12	82	0
(31)	(31)	(0)	(11)	(73)	0						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
60	11	0				69	12	1			
(62)	(11)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
38	32	0	12	82	0	38	32	0	12	82	0
[10]	[0]	[0]	[1]	[11]	[0]	[10]	[0]	[0]	[1]	[11]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
69	12	1				69	12	1			
[9]	[1]	[1]									

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員の うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{82}{71} = \boxed{115.49} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{82} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由					
1	准教授	成田 宏秋	H30. 3	選択	理学ゼミナール	①	H30. 3. 31付け他大学転出のため就任辞退（30）					
				選択	特別プレゼンテーション	①						
				選択	解析数論	①						
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修		科目	必修	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択		科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由		科目	自由	科目
		計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目	計	0

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	准教授	尾上 哲治	H31. 3	選択	理学ゼミナール	①	H31. 3. 31付け他大学転出のため辞任（元）		
				選択	特別プレゼンテーションⅡ	①			
				選択	地殻変動特論	③			
2	助教	大谷 亮	H30. 12	選択	理学ゼミナール	①	H30. 12. 31付け他大学転出のため辞任（元）		
				選択	特別プレゼンテーションⅡ	①			
3	教授	濱名 裕治	R2. 2	選択	理学ゼミナール	①	R2. 2. 29付け他大学転出のため辞任（2）		
				選択	特別プレゼンテーションⅡ	①			
				選択	確率過程論	③			
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）
3	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0
		選択	8	科目	選択	6	科目	選択	2
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0
		計	8	科目	計	6	科目	計	2

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）				
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）
4	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0
		選択	11	科目	選択	9	科目	選択	2
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0
		計	11	科目	計	9	科目	計	2

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{4}{71} = 5.63 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	高宮 正之	選択	科学技術と社会Ⅱ	①	H31.3.31付け65歳で定年退職（元）							
2	教授	長谷中 利昭	選択	現代社会理解A	②	H31.3.31付け65歳で定年退職（元）							
3	教授	瀧尾 進	選択	科学技術と社会Ⅱ	①	R2.3.31付け65歳で定年退職（2）							
合 計					後任補充状況の集計								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
3	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目			
		選択	3	科目	選択	2	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	2	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退、辞任及び退職の教員に係る担当科目については、他の専任教員及び兼任教員で補完している。今年度は3科目を未開講としているが、他に選択可能な科目が複数あるため、特に履修上の支障は無い。
 学生への周知方法については、新入生ガイダンス時に授業時間割を配布し、また授業時間割を自然科学教育部ホームページに掲載すること等により、担当教員を充分周知している。

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

該当なし

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<自然科学教育部 理学専攻（博士後期課程）>

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

（注）・ １～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 自然科学教育部FD委員会を設置している。 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ・令和元年6月6日 第1回FD委員会（14名中14名参加） ・令和2年1月6日～1月17日 第2回FD委員会（メール開催） c 委員会の審議事項等 ・年間の活動計画 ・シラバスチェック ・FD講演会について ② 実施状況 a 実施内容 1. FD講演会：「熊本大学における学習成果の可視化」 2. シラバスチェック 3. FD実施体制の検討 4. 教員相互の授業参観 b 実施方法 1. FD講演会：本学大学教育統括管理運営機構より講師を迎えて「熊本大学における学習成果の可視化－学習成果可視化システム（ASO）の活用促進－」のタイトルで実施。 2. シラバスチェック：FD委員が各専攻、コース・教育プログラムのシラバスを9月中旬～10月末までにチェックする。また、「シラバス実施報告書」を作成した。 3. FD実施体制の検討：FD実施体制について委員会で検討した。 4. 大学院開講の全科目を対象として、教員相互の授業参観を実施した。 c 開催状況（教員の参加状況含む） 1. FD講演会：令和元年7月26日（金） 教員61名参加（理学部、工学部と合同で実施） 2. シラバスチェック：令和元年8月6日～10月31日 12コース・教育プログラムで実施 3. FD実施体制の検討：令和元年6月 FD委員による意見交換 4. 教員相互の授業参観：令和元年6月～令和元年1月に理学部、工学部と合同で実施（大学院のみの授業参観者数 7名） d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・シラバスシステムにより作成されたシラバスがシラバスシステム構築の目的に沿ったものであるか検証した結果を2020年度シラバスの入力へ反映させ、教育の質の向上を資する。 ・FD活動について、学部と大学院が連携して実施する体制を確認し、年度計画策定や活動を行っている。 ・授業参観を実施し、意見交換を行うことにより、授業を実施した教員及び参観した教員相互にとって今後の授業の計画、実施に有益なものとなった。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 実施有 年4回（授業終了時に）予定している。 b 教員や学生への公開状況、方法等 毎年、熊本大学ポータル内授業改善アンケートシステムで教員および学生へ公開している。 2020年度については、授業評価アンケートを未だ実施していないため、実施・集計後に公開を行う。
--

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を実施するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年度に自己評価を行い、令和元年10月公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開済

https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/kihonjoho/hyouka/copy_of_hyouka-h26

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年度を目処に評価機構（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の認証評価を受けることについて、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有]

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 熊本大学

(2) 大 学 名

熊本大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(ハラダ シンジ) 原田 信志 (平成27年4月)		
教育部長	(イカワ フサオ) 市川 聡夫 (平成30年4月)	(ツカワ サダヒロ) 連川 貞弘 (令和2年4月)	任期満了に伴う変更(令和2年4月1日)(2)
専攻長	(ウサカワ ユウジ) 宇佐川 毅 (平成30年4月)	(ツカワ サダヒロ) 連川 貞弘 (令和2年4月)	任期満了に伴う変更(令和2年4月1日)(2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
 令和2年度に報告する内容 → (2)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
自然科学教育部 工学専攻 (博士後期課程) 博士(工学) 博士(学術)	工学関係	3年	46人	年次人	138人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成 3 0 年度		令和元年度		令和 2 年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から報 告年度までの平 均入学定員超過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	46人 (-) [-]	-人 (-) [-]	46人 (-) [-]	-人 (-) [-]	46人 (-) [-]	-人 (-) [-]	0.58倍	倍	
志願者数	19 (-) [4]	18 (-) [15]	13 (-) [6]	22 (-) [17]	19 (-) [3]	-人 (-) [-]			
受験者数	19 (-) [4]	18 (-) [15]	13 (-) [6]	22 (-) [17]	19 (-) [3]	-人 (-) [-]			
合格者数	19 (-) [4]	18 (-) [15]	13 (-) [6]	20 (-) [15]	19 (-) [3]	-人 (-) [-]			
B 入学者数	19 (-) [4]	15 (-) [12]	13 (-) [6]	16 (-) [11]	18 (-) [3]	-人 (-) [-]			
入学定員超過率 B / A	0.73		0.63		0.39				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	19 [4] (-)	15 [12] (-)	13 [6] (-)	16 [11] (-)	18 [3] (-)	15 [10] (-)	
2 年次			15 [4] (-)	15 [12] (-)	13 [6] (-)	15 [12] (-)	
3 年次					15 [4] (-)	[-] (-)	
計	34 [16] (-)		59 [33] (-)		76 [35] (-)		

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	34 人	1 人	平成30年度	1 人	0 人	他の教育機関への転学(1人)
令和元年度	61 人	2 人	平成30年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)
			令和元年度	1 人	1 人	除籍(1人)
令和2年度	76 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		3 人		3 人	1 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{34} = \boxed{2.94} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{61} = \boxed{3.27} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{76} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<自然科学教育部 工学専攻(博士後期課程)>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
理工融合教育科目	先端科学科目 科学技術と社会Ⅰ	1・2・3前		1		2	2				兼4
	科学技術と社会Ⅱ	1・2・3後		1		2	2				兼4
	日本の先端科学Ⅱ	1・2・3通			2						兼1
	科学技術英語特論	1・2・3通			2						兼1
	小計(4科目)	—	0	2	4	4	4	0	0	0	兼9
	大学院教養教育科目 現代社会理解A	1・2・3通		1							兼1
	現代社会理解B	1・2・3通		1							兼1
	技術革新のための基礎科学	1・2・3通		1							兼1
	マネジメント概論	1・2・3通		1							兼1
	科学の歴史	1・2・3通		1							兼1
	小計(5科目)	—	0	5	0	0	0	0	0	0	兼5
MOT特別教育科目	MOT概論・基礎編	1前		1							兼4
	MOT概論・応用編	1前		1							兼1
	実践MOT	1後		2							兼1
	プロジェクトマネジメント	1後		1							兼1
	生産マネジメント	1後		1							兼1
	企業経営概論	1後		1							兼1
	ベンチャー企業論	1前		1							兼5
	小計(7科目)	—	0	0	8	0	0	0	0	0	兼9
共通科目	インターンシップⅡ	1・2・3通		2		1					
	先端科学特別講義Ⅱ	1・2・3通		2		52	64	2			
	プロジェクトゼミナールⅡ	1・2・3通		4		52	64	2	26		
	特別プレゼンテーションⅡ	1・2・3通		2		52	64	2	26		
	小計(4科目)	—	0	10	0	52	64	2	26	0	0
	広域環境保全工学教育プログラム科目 地下岩盤環境解析論	1・2・3前		2			1				
	岩盤工学設計特論	1・2・3前		2		1					
	地盤工学特論	1・2・3前		2		1					
	地盤内物質輸送論	1・2・3後		2			1				
	質的環境工学特論	1・2・3後		2		1					
専門科目	環境共生農業工学特論	1・2・3後		2			1				
	環境流体輸送論	1・2・3後		2		1					
	沿岸動力学特論	1・2・3前		2		1					
	小計(8科目)	—	0	16	0	5	3	0	0	0	0
	社会環境マネジメント教育プログラム科目 持続可能都市システム	1・2・3後		2		1					
	環境便益計測論	1・2・3前		2		1					
	地域公共政策論	1・2・3後		2			1				
	状況景観論	1・2・3後		2			1				
	社会基盤メンテナンス工学	1・2・3後		2			1				
	災害リスクマネジメント	1・2・3前		2		1					
専門科目	耐震・制震設計論	1・2・3前		2			1				
	応用生態工学論	1・2・3後		2			1				
	リスク分析	1・2・3後		2			1				
	環境減災マネジメント	1・2・3後		2			1				
	環境軽負荷学	1・2・3後		2		1					
	小計(11科目)	—	0	22	0	4	7	0	0	0	0
	人間環境計画学教育プログラム科目 都市・建築環境心理学	1・2・3前		2			1				
	保存修景論	1・2・3後		2		1					
	空間構法計画	1・2・3前		2			1				
	室内環境学特論	1・2・3後		2			1				
専門科目	建築情報マネジメント論	1・2・3後		2			1				
	建築史特論	1・2・3後		2			1				
	都市環境工学特論	1・2・3前		2					1		
	都市情報学特論	1・2・3後		2			1				
	小計(8科目)	—	0	16	0	1	5	0	1	0	0
	循環建築工学教育プログラム科目 高機能性材料設計論	1・2・3前		2		1					
	補修・補強材料工学	1・2・3前		2			1				
	安全制御耐風設計論	1・2・3前		2			1				
	構造信頼性工学	1・2・3前		2			1				
	木造構造解析特論	1・2・3前		2							兼1
専門科目	界面強度試験特論	1・2・3前		2							兼1
	小計(6科目)	—	0	12	0	1	3	0	0	0	兼2

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
理工融合教育科目	先端科学科目 科学技術と社会Ⅰ	1・2・3前		1		5					兼3
	科学技術と社会Ⅱ	1・2・3後		1		3	2				兼3
	日本の先端科学Ⅱ	1・2・3通			2						兼1
	科学技術英語特論	1・2・3通			2						兼1
	小計(4科目)	—	0	2	4	8	2	0	0	0	兼7
	大学院教養教育科目 現代社会理解A	1・2・3通		1							兼3
	現代社会理解B	1・2・3通		1							兼4
	技術革新のための基礎科学	1・2・3通		1							兼7
	マネジメント概論	1・2・3通		1							兼3
	科学の歴史	1・2・3通		1							兼3
	小計(5科目)	—	0	5	0	0	0	0	0	0	兼20
MOT特別教育科目	MOT概論・基礎編	1前		1							兼1
	MOT概論・応用編	1前		1							兼2
	実践MOT	1後		2							兼1
	プロジェクトマネジメント	1後		1							兼3
	生産マネジメント	1後		1							兼3
	企業経営概論	1後		1							兼4
	ベンチャー企業論	1前		1							兼5
	小計(7科目)	—	0	0	8	0	0	0	0	0	兼16
共通科目	インターンシップⅡ	1・2・3通		2		1					
	先端科学特別講義Ⅱ	1・2・3通		2		68	57	1			
	プロジェクトゼミナールⅡ	1・2・3通		4		67	57	1	25		
	特別プレゼンテーションⅡ	1・2・3通		2		67	57	1	25		
	小計(4科目)	—	0	10	0	67	57	1	25	0	0
	広域環境保全工学教育プログラム科目 地下岩盤環境解析論	1・2・3前		2			1				
	岩盤工学設計特論(未開講)	1・2・3前		2		1					
	地盤工学特論	1・2・3前		2		1					
	地盤内物質輸送論	1・2・3後		2		1					
	質的環境工学特論	1・2・3後		2		1					
専門科目	環境共生農業工学特論(未開講)	1・2・3後		2			1				
	環境流体輸送論	1・2・3後		2		1					
	沿岸動力学特論	1・2・3後		2		1					
	小計(8科目)	—	0	16	0	5	1	0	0	0	0
	社会環境マネジメント教育プログラム科目 持続可能都市システム	1・2・3後		2		1					
	環境便益計測論	1・2・3前		2		1					
	地域公共政策論	1・2・3後		2			1				
	状況景観論	1・2・3後		2			1				
	社会基盤メンテナンス工学	1・2・3後		2			1				
	災害リスクマネジメント(未開講)	1・2・3前		2			1				
専門科目	耐震・制震設計論	1・2・3前		2		1					
	応用生態工学論	1・2・3後		2			1				
	リスク分析	1・2・3後		2			1				
	環境減災マネジメント	1・2・3前		2			1				
	環境軽負荷学	1・2・3後		2		1					
	小計(11科目)	—	0	22	0	4	6	0	0	0	0
	人間環境計画学教育プログラム科目 都市・建築環境心理学	1・2・3前		2		1					
	保存修景論	1・2・3後		2		1					
	空間構法計画	1・2・3前		2		1					
	室内環境学特論	1・2・3後		2			1				
専門科目	建築情報マネジメント論	1・2・3後		2			1				
	建築史特論	1・2・3後		2			1				
	都市環境工学特論	1・2・3前		2					1		
	都市情報学特論	1・2・3後		2			1				
	小計(8科目)	—	0	16	0	3	4	0	1	0	0
	循環建築工学教育プログラム科目 高機能性材料設計論	1・2・3前		2		1					
	補修・補強材料工学(未開講)	1・2・3前		2			1				
	安全制御耐風設計論	1・2・3前		2			1				
	構造信頼性工学	1・2・3前		2			1				
	建築構造設計学特論	1・2・3後		2		1					
専門科目	木造構造解析特論	1・2・3前		2							兼1
	界面強度試験特論	1・2・3前		2							兼1
	小計(7科目)	—	0	14	0	2	2	0	0	0	兼2

専 門 科 目	先 端 機 械 シ ス テ ム 教 育 プ ロ グ ラ ム 科 目	高温強度学特論	1-2-3前		2			1					
		非平衡熱力学	1-2-3後		2		1						
		数値流体工学	1-2-3前		2			1					
		流体エネルギー変換工学	1-2-3後		2			1					
		熱・物質移動工学	1-2-3後		2			1					
		熱流動シミュレーション	1-2-3前		2		1						
		相変化伝熱特論	1-2-3後		2			1					
		混相流体力学	1-2-3前		2			1					
		超精密加工学	1-2-3前		2			1					
		機械設計システム	1-2-3前		2		1						
		精密機械製作学	1-2-3前		2			1					
		マイクロ・ナノシステム創成論	1-2-3前		2			1					
		爆発加工学	1-2-3後		2			1					
	小計(13科目)		—	0	26	0	4	8	0	0	0	0	0
	機 械 知 能 シ ス テ ム 教 育 プ ロ グ ラ ム 科 目	成形加工論	1-2-3後		2		1						
		知能機械システム特論	1-2-3後		2			1					
		破壊力学	1-2-3後		2		1						
		メンテナンス工学	1-2-3後		2			1					
		接合加工学	1-2-3後		2		1						
		センサー工学特論	1-2-3後		2		1						
		計測信号処理特論	1-2-3前		2		1						
		能動計測特論	1-2-3後		2				1				
		ロバスト適応制御論	1-2-3後		2			1					
		生産システム設計	1-2-3前		2			1					
		極限環境物質科学	1-2-3後		2			1					
	小計(11科目)		—	0	22	0	5	5	1	0	0	0	0
	応 用 数 理 教 育 プ ロ グ ラ ム 科 目	複雑系解析特論	1-2-3前		2		1						
		調和解析学特論	1-2-3後		2			1					
		組合せ論特論	1-2-3後		2		1						
		グラフマイナー・構造理論特論	1-2-3前		2				1				
		マルコフ過程論	1-2-3後		2							兼1	
		大偏差原理特論	1-2-3前		2		1						
		逐次解析特論	1-2-3後		2							兼1	
		多変量解析特論	1-2-3後		2			1					
	小計(8科目)		—	0	16	0	3	2	1	0	0	0	0
	先 端 情 報 通 信 工 学 教 育 プ ロ グ ラ ム 科 目	光・マイクロ波回路工学特論	1-2-3前		2		1						
		アンテナ伝搬工学特論	1-2-3前		2		1						
		コンピュータアーキテクチャ特論Ⅰ	1-2-3前		2		1						
		コンピュータアーキテクチャ特論Ⅱ	1-2-3後		2			1					
		集積システム設計工学特論	1-2-3後		2		1						
		システムソフトウェア特論	1-2-3前		2			1					
		算数解析特論Ⅰ	1-2-3前		2		1						
		算数解析特論Ⅱ	1-2-3後		2			1					
		高次実時間処理特論	1-2-3後		2		1						
		情報ネットワーク論	1-2-3前		2		1						
		メディア情報応用技術論	1-2-3後		2		1						
		情報通信基盤セキュリティ特論	1-2-3前		2		1						
		時系列解析特論	1-2-3後		2		1						
	小計(13科目)		—	0	26	0	9	3	0	0	0	0	0
	機 能 創 成 エ ネ ル ギ ー 教 育 プ ロ グ ラ ム 科 目	超音波工学	1-2-3後		2			1					
		電力システム経済論	1-2-3前		2			1					
		パワーエレクトロニクス特論	1-2-3前		2		1						
		環境エレクトロニクス特論	1-2-3後		2		1						
		電磁エネルギー生体応用工学	1-2-3後		2			1					
		機能電子デバイス論	1-2-3前		2		1						
		ナノ構造応用工学	1-2-3後		2		1						
		パルス放電プラズマ応用工学	1-2-3後		2			1					
		光応用工学特論	1-2-3後		2			1					
		パルスパワー医療科学特論	1-2-3後		2		1						
		衝撃波バイオエレクトロニクス科学特論	1-2-3前		2		1						
		ナノ電子デバイス特論	1-2-3後		2		1						
		衝撃パルスパワー発生制御技術	1-2-3後		2		1						
		パルスパワー生命科学	1-2-3後		2		1						
	小計(14科目)		—	0	28	0	8	5	0	0	0	0	0

専 門 科 目	先 端 機 械 シ ス テ ム 教 育 プ ロ グ ラ ム 科 目	高温強度学特論	1-2-3前		2			1					
		非平衡熱力学	1-2-3後		2			1					
		数値流体工学	1-2-3前		2			1					
		流体エネルギー変換工学	1-2-3後		2			1					
		熱・物質移動工学	1-2-3後		2			1					
		熱流動シミュレーション	1-2-3前		2		1						
		相変化伝熱特論	1-2-3後		2			1					
		混相流体力学	1-2-3前		2			1					
		超精密加工学	1-2-3前		2			1					
		機械設計システム	1-2-3前		2		1						
		精密機械製作学	1-2-3前		2			1					
		マイクロ・ナノシステム創成論 (未開講)	1-2-3前		2			1					
		バイオメカニクス (1-2-3後)	1-2-3後		2				1				
		爆発加工学	1-2-3前		2			1					
	小計(14科目)		—	0	28	0	6	7	0	0	0	0	0
	機 械 知 能 シ ス テ ム 教 育 プ ロ グ ラ ム 科 目	成形加工論	1-2-3後		2		1						
		知能機械システム特論	1-2-3後		2			1					
		破壊力学	1-2-3後		2		1						
		メンテナンス工学	1-2-3後		2			1					
		接合加工学	1-2-3後		2		1						
		センサー工学特論(未開講)	1-2-3後		2		1						
		計測信号処理特論	1-2-3前		2		1						
		能動計測特論	1-2-3後		2				1				
		ロバスト適応制御論	1-2-3後		2			1					
		生産システム設計	1-2-3前		2			1					
		極限環境物質科学	1-2-3後		2			1					
	小計(11科目)		—	0	22	0	5	4	1	0	0	0	0
	応 用 数 理 教 育 プ ロ グ ラ ム 科 目	複雑系解析特論	1-2-3前		2		1						
		調和解析学特論(未開講)	1-2-3後		2			1					
		組合せ論特論	1-2-3後		2		1						
		グラフマイナー・構造理論特論	1-2-3後		2			1					
		マルコフ過程論(未開講)	1-2-3後		2							兼1	
		大偏差原理特論	1-2-3前		2		1						
		逐次解析特論(未開講)	1-2-3後		2							兼1	
		多変量解析特論	1-2-3後		2			1					
	小計(8科目)		—	0	16	0	4	1	0	0	0	0	0
	先 端 情 報 通 信 工 学 教 育 プ ロ グ ラ ム 科 目	光・マイクロ波回路工学特論	1-2-3前		2		1						
		アンテナ伝搬工学特論	1-2-3前		2		1						
		コンピュータアーキテクチャ特論Ⅰ	1-2-3前		2		1						
		コンピュータアーキテクチャ特論Ⅱ	1-2-3後		2			1					
		集積システム設計工学特論	1-2-3後		2			1					
		システムソフトウェア特論	1-2-3前		2			1					
		算数解析特論Ⅰ	1-2-3前		2		1						
		算数解析特論Ⅱ(未開講)	1-2-3後		2			1					
		高次実時間処理特論	1-2-3後		2			1					
		情報ネットワーク論	1-2-3前		2		1						
		非線形システム解析特論 (1-2-3後)	1-2-3後		2				1				
		メディア情報応用技術論	1-2-3後		2		1						
		情報通信基盤セキュリティ特論	1-2-3前		2		1						
		時系列解析特論	1-2-3後		2				1				
	小計(14科目)		—	0	28	0	9	4	0	0	0	0	0
	機 能 創 成 エ ネ ル ギ ー 教 育 プ ロ グ ラ ム 科 目	超音波工学	1-2-3後		2			1					
		電力システム経済論	1-2-3前		2			1					
		パワーエレクトロニクス特論	1-2-3前		2		1						
		環境エレクトロニクス特論	1-2-3後		2		1						
		電磁エネルギー生体応用工学	1-2-3後		2			1					
		機能電子デバイス論	1-2-3前		2		1						
		ナノ構造応用工学	1-2-3後		2		1						
		パルス放電プラズマ応用工学	1-2-3後		2			1					
		光応用工学特論	1-2-3後		2			1					
		パルスパワー医療科学特論	1-2-3後		2		1						
		衝撃波バイオエレクトロニクス科学特論	1-2-3前		2		1						
		ナノ電子デバイス特論	1-2-3後		2		1						
		衝撃パルスパワー発生制御技術	1-2-3後		2		1						
		パルスパワー生命科学	1-2-3後		2		1						
	小計(14科目)		—	0	28	0	8	5	0	0	0	0	0

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
理工融合教育科目	先端科学科目 科学技術と社会Ⅰ	1・2・3前		1		3	2				兼3
	科学技術と社会Ⅱ	1・2・3後		1		3	1		1		兼3
	日本の先端科学Ⅱ	1・2・3通			2						兼1
	科学技術英語特論	1・2・3通			2						兼1
	小計(4科目)	—	0	2	4	6	3	0	1	0	兼7
	大学院教養教育科目 現代社会理解A	1・2・3通		1							兼3
	現代社会理解B	1・2・3通		1							兼1
	技術革新のための基礎科学	1・2・3通		1							兼3
	マネジメント概論	1・2・3通		1							兼7
	科学の歴史	1・2・3通		1							兼3
	小計(5科目)	—	0	5	0	0	0	0	0	0	兼16
	MOT特別教育科目 MOT概論・基礎編	1前			1						兼1
	MOT概論・応用編	1前			1						兼1
専門科目	実践MOT	1後			2						兼1
	プロジェクトマネジメント	1後			1						兼2
	生産マネジメント	1後			1						兼1
	企業経営概論	1後			1						兼6
	ベンチャー企業論	1前			1						兼5
	小計(7科目)	—	0	0	8	0	0	0	0	0	兼13
	共通科目 インターンシップⅡ	1・2・3通		2		1					
	先端科学特別講義Ⅱ	1～3通		2		53	63	2			
	プロジェクトゼミナールⅡ	1～3通		4		54	64	2	24		
	特別プレゼンテーションⅡ	1・2・3通		2		54	64	2	24		
	小計(4科目)	—	0	10	0	54	64	2	24	0	0
	広域環境保全工学教育プログラム科目 地下岩盤環境解析論	1・2・3前		2			1				
	岩盤工学設計特論	1・2・3前		2		1					
	地盤工学特論	1・2・3前		2		1					
	地盤内物質輸送論	1・2・3後		2			1				
	質的環境工学特論	1・2・3後		2		1					
	環境共生農業工学特論	1・2・3後		2			1				
	環境流体輸送論	1・2・3後		2		1					
	沿岸動力学特論	1・2・3後		2		1					
	小計(8科目)	—	0	16	0	5	3	0	0	0	0
	社会環境マネジメント教育プログラム科目 持続可能都市システム	1・2・3後		2		1					
	環境便益計測論	1・2・3前		2		1					
	地域公共政策論	1・2・3後		2			1				
	状況景観論	1・2・3後		2			1				
	社会基盤メンテナンス工学	1・2・3後		2			1				
	災害リスクマネジメント(未開後)	1・2・3前		2							兼1
	耐震・制震設計論	1・2・3前		2			1				
	応用生態工学論	1・2・3後		2			1				
	リスク分析	1・2・3後		2			1				
	環境減災マネジメント	1・2・3前		2			1				
	環境軽負荷学	1・2・3後		2		1					
	小計(11科目)	—	0	22	0	3	7	0	0	0	0
	人間環境計画学教育プログラム科目 都市・建築環境心理学	1・2・3前		2			1				
	保存修景論	1・2・3後		2		1					
	空間構法計画	1・2・3前		2			1				
	室内環境学特論	1・2・3後		2			1				
	建築情報マネジメント論	1・2・3後		2			1				
	建築史特論	1・2・3後		2			1				
	都市環境工学特論	1・2・3前		2					1		
	都市情報学特論	1・2・3後		2			1				
	小計(8科目)	—	0	16	0	1	5	0	1	0	0
	環境建築工学教育プログラム科目 高機能性材料設計論	1・2・3前		2		1					
	補修・補強材料工学	1・2・3前		2			1				
	安全制御耐風設計論	1・2・3前		2			1				
	構造信頼性工学	1・2・3前		2			1				
	木造構造解析特論	1・2・3前		2							兼1
	界面強度試験特論	1・2・3前		2							兼1
	小計(6科目)	—	0	12	0	1	3	0	0	0	兼2

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
理工融合教育科目	先端科学科目 科学技術と社会Ⅰ	1・2・3前		1		3	2				兼3
	科学技術と社会Ⅱ	1・2・3後		1		3	1		1		兼3
	日本の先端科学Ⅱ	1・2・3通			2						兼1
	科学技術英語特論	1・2・3通			2						兼1
	小計(4科目)	—	0	2	4	6	3	0	1	0	兼7
	大学院教養教育科目 現代社会理解A	1・2・3通		1							兼3
	現代社会理解B	1・2・3通		1							兼1
	技術革新のための基礎科学	1・2・3通		1							兼3
	マネジメント概論	1・2・3通		1							兼7
	科学の歴史	1・2・3通		1							兼3
	小計(5科目)	—	0	5	0	0	0	0	0	0	兼17
	MOT特別教育科目 MOT概論・基礎編	1前			1						兼1
	MOT概論・応用編	1前			1						兼1
	実践MOT	1後			2						兼1
専門科目	プロジェクトマネジメント	1後			1						兼3
	生産マネジメント	1後			1						兼2
	企業経営概論	1後			1						兼6
	ベンチャー企業論	1前			1						兼5
	小計(7科目)	—	0	0	8	0	0	0	0	0	兼14
	共通科目 インターンシップⅡ	1・2・3通		2		1					
	先端科学特別講義Ⅱ	1～3通		2		60	64	1			
	プロジェクトゼミナールⅡ	1～3通		4		61	64	1	24		
	特別プレゼンテーションⅡ	1・2・3通		2		61	64	1	24		
	小計(4科目)	—	0	10	0	61	64	1	24	0	0
	広域環境保全工学教育プログラム科目 地下岩盤環境解析論	1・2・3前		2			1				
	岩盤工学設計特論	1・2・3前		2		1					
	地盤工学特論	1・2・3前		2		1					
	地盤内物質輸送論	1・2・3後		2			1				
	質的環境工学特論	1・2・3後		2		1					
	環境共生農業工学特論	1・2・3後		2			1				
	環境流体輸送論	1・2・3後		2		1					
	沿岸動力学特論	1・2・3後		2		1					
	小計(8科目)	—	0	16	0	5	3	0	0	0	0
	社会環境マネジメント教育プログラム科目 持続可能都市システム	1・2・3後		2		1					
	環境便益計測論	1・2・3前		2		1					
	地域公共政策論	1・2・3後		2			1				
	状況景観論	1・2・3後		2			1				
	社会基盤メンテナンス工学	1・2・3後		2			1				
	災害リスクマネジメント	1・2・3前		2			1				
	耐震・制震設計論	1・2・3前		2		1					
	応用生態工学論	1・2・3後		2			1				
	リスク分析	1・2・3後		2			1				
	環境減災マネジメント	1・2・3前		2			1				
	環境軽負荷学	1・2・3後		2		1					
	小計(11科目)	—	0	22	0	4	6	0	0	0	0
	人間環境計画学教育プログラム科目 都市・建築環境心理学	1・2・3前		2		1					
	保存修景論	1・2・3後		2		1					
	空間構法計画	1・2・3前		2		1					
	室内環境学特論	1・2・3後		2			1				
	建築情報マネジメント論	1・2・3後		2			1				
	建築史特論	1・2・3後		2			1				
	都市環境工学特論	1・2・3前		2					1		
	都市情報学特論	1・2・3後		2			1				
	小計(8科目)	—	0	16	0	3	4	0	1	0	0
	環境建築工学教育プログラム科目 高機能性材料設計論	1・2・3前		2		1					
	補修・補強材料工学	1・2・3前		2			1				
	安全制御耐風設計論	1・2・3前		2			1				
	構造信頼性工学	1・2・3前		2			1				
	木造構造解析特論	1・2・3前		2							兼1
	界面強度試験特論	1・2・3前		2							兼1
	小計(6科目)	—	0	12	0	1	3	0	0	0	兼2

先端機械システム教育プログラム科目	高温強度学特論	1・2・3前	2			1				
	非平衡熱力学	1・2・3後	2		1					
	数値流体工学	1・2・3前	2			1				
	流体エネルギー変換工学	1・2・3後	2			1				
	熱・物質移動工学	1・2・3後	2			1				
	熱流動シミュレーション	1・2・3前	2		1					
	相変化伝熱特論	1・2・3後	2			1				
	混相流体力学	1・2・3前	2			1				
	超精密加工学	1・2・3前	2			1				
	機械設計システム	1・2・3前	2		1					
機械知能システム教育プログラム科目	精密機械製作学	1・2・3前	2			1				
	マイクロ・ナノシステム創成論	1・2・3前	2			1				
	爆発加工学	1・2・3前	2		1					
	小計(13科目)	—	0	26	0	4	8	0	0	0
	成形加工論	1・2・3後	2		1					
	知能機械システム特論	1・2・3後	2			1				
	破壊力学	1・2・3後	2		1					
	メンテナンス工学	1・2・3後	2			1				
	接合加工学	1・2・3後	2		1					
	センサー工学特論	1・2・3後	2		1					
応用数理教育プログラム科目	計測信号処理特論	1・2・3前	2		1					
	能動計測特論	1・2・3後	2				1			
	ロボスト適応制御論	1・2・3後	2			1				
	生産システム設計	1・2・3前	2			1				
	極限環境物質科学	1・2・3後	2			1				
	小計(11科目)	—	0	22	0	5	5	1	0	0
	複雑系解析特論	1・2・3前	2		1					
	調和解析学特論	1・2・3後	2			1				
	組合せ論特論	1・2・3後	2		1					
	グラフマイナー・構造理論特論	1・2・3後	2				1			
先端情報通信工学教育プログラム科目	マルコフ過程論(未開講)	1・2・3後	2							兼1
	大偏差原理特論	1・2・3前	2		1					
	逐次解析特論(未開講)	1・2・3後	2							兼1
	多変量解析特論	1・2・3後	2			1				
	小計(8科目)	—	0	16	0	3	2	1	0	0
	光・マイクロ波回路工学特論	1・2・3前	2		1					
	アンテナ伝搬工学特論	1・2・3前	2		1					
	コンピュータアーキテクチャ特論Ⅰ	1・2・3前	2		1					
	コンピュータアーキテクチャ特論Ⅱ	1・2・3後	2			1				
	集積システム設計工学特論	1・2・3後	2		1					
機能創成エネルギー教育プログラム科目	システムソフトウェア特論	1・2・3前	2			1				
	算法解析特論Ⅰ	1・2・3前	2		1					
	算法解析特論Ⅱ	1・2・3後	2			1				
	高次実時間処理特論	1・2・3後	2		1					
	情報ネットワーク論	1・2・3前	2		1					
	メディア情報応用技術論	1・2・3後	2		1					
	情報通信基盤セキュリティ特論	1・2・3前	2		1					
	時系列解析特論	1・2・3後	2		1					
	小計(13科目)	—	0	26	0	9	3	0	0	0
	超音波工学	1・2・3後	2			1				
機能創成エネルギー教育プログラム科目	電力システム経済論	1・2・3前	2			1				
	パワーエレクトロニクス特論	1・2・3前	2		1					
	環境エレクトロニクス特論	1・2・3後	2		1					
	電磁エネルギー生体応用工学	1・2・3後	2			1				
	機能電子デバイス論	1・2・3前	2		1					
	ナノ構造応用工学	1・2・3後	2		1					
	パルス放電プラズマ応用工学	1・2・3後	2			1				
	光応用工学特論	1・2・3後	2			1				
	パルスパワー医療科学特論	1・2・3後	2		1					
	衝撃波バイオエレクトロニクス科学特論	1・2・3前	2		1					
機能創成エネルギー教育プログラム科目	ナノ電子デバイス特論	1・2・3後	2		1					
	衝撃パルスパワー発生制御技術	1・2・3後	2		1					
	パルスパワー生命科学	1・2・3後	2		1					
	小計(14科目)	—	0	28	0	8	5	0	0	0

先端機械システム教育プログラム科目	高温強度学特論	1・2・3前	2			1				
	非平衡熱力学	1・2・3後	2		1					
	数値流体工学	1・2・3前	2			1				
	流体エネルギー変換工学	1・2・3後	2			1				
	熱・物質移動工学	1・2・3後	2			1				
	熱流動シミュレーション	1・2・3前	2		1					
	相変化伝熱特論	1・2・3後	2			1				
	混相流体力学	1・2・3前	2			1				
	超精密加工学	1・2・3前	2			1				
	機械設計システム	1・2・3前	2		1					
機械知能システム教育プログラム科目	精密機械製作学	1・2・3前	2			1				
	マイクロ・ナノシステム創成論	1・2・3前	2			1				
	爆発加工学	1・2・3前	2		1					
	小計(14科目)	—	0	28	0	6	8	0	0	0
	成形加工論	1・2・3後	2		1					
	知能機械システム特論	1・2・3後	2			1				
	破壊力学	1・2・3後	2		1					
	メンテナンス工学	1・2・3後	2			1				
	接合加工学	1・2・3後	2		1					
	センサー工学特論	1・2・3後	2		1					
応用数理教育プログラム科目	計測信号処理特論	1・2・3前	2		1					
	能動計測特論	1・2・3後	2				1			
	ロボスト適応制御論	1・2・3後	2			1				
	生産システム設計	1・2・3前	2			1				
	極限環境物質科学	1・2・3後	2			1				
	小計(11科目)	—	0	22	0	6	4	1	0	0
	複雑系解析特論	1・2・3前	2		1					
	調和解析学特論(未開講)	1・2・3後	2			1				
	組合せ論特論	1・2・3後	2		1					
	グラフマイナー・構造理論特論	1・2・3後	2				1			
先端情報通信工学教育プログラム科目	マルコフ過程論(未開講)	1・2・3後	2							兼1
	大偏差原理特論	1・2・3前	2		1					
	逐次解析特論(未開講)	1・2・3後	2							兼1
	多変量解析特論	1・2・3後	2			1				
	小計(8科目)	—	0	16	0	3	2	0	0	0
	光・マイクロ波回路工学特論	1・2・3前	2		1					
	アンテナ伝搬工学特論	1・2・3前	2		1					
	コンピュータアーキテクチャ特論Ⅰ	1・2・3前	2		1					
	コンピュータアーキテクチャ特論Ⅱ	1・2・3後	2			1				
	集積システム設計工学特論	1・2・3後	2				1			
機能創成エネルギー教育プログラム科目	システムソフトウェア特論	1・2・3前	2			1				
	算法解析特論Ⅰ	1・2・3前	2		1					
	算法解析特論Ⅱ	1・2・3後	2			1				
	高次実時間処理特論(未開講)	1・2・3後	2		1					
	情報ネットワーク論	1・2・3前	2		1					
	メディア情報応用技術論	1・2・3後	2		1					
	情報通信基盤セキュリティ特論	1・2・3前	2		1					
	時系列解析特論	1・2・3後	2				1			
	小計(13科目)	—	0	26	0	7	5	0	0	0
	超音波工学	1・2・3後	2			1				
機能創成エネルギー教育プログラム科目	電力システム経済論	1・2・3前	2			1				
	パワーエレクトロニクス特論	1・2・3前	2		1					
	環境エレクトロニクス特論	1・2・3後	2		1					
	電磁エネルギー生体応用工学	1・2・3後	2			1				
	機能電子デバイス論	1・2・3前	2		1					
	ナノ構造応用工学	1・2・3後	2		1					
	パルス放電プラズマ応用工学	1・2・3後	2			1				
	光応用工学特論	1・2・3後	2			1				
	パルスパワー医療科学特論	1・2・3後	2		1					
	衝撃波バイオエレクトロニクス科学特論	1・2・3前	2		1					
機能創成エネルギー教育プログラム科目	ナノ電子デバイス特論	1・2・3後	2		1					
	衝撃パルスパワー発生制御技術	1・2・3後	2		1					
	パルスパワー生命科学	1・2・3後	2		1					
	小計(14科目)	—	0	28	0	8	5	0	0	0

専門科目	人間環境情報教育プログラム科目	モデルベースド制御特論	1・2・3後	2		1				
		人間機械システム工学特論	1・2・3後	2	1					
		サイバネティクス特論	1・2・3後	2		1				
		画像情報処理	1・2・3前	2		1				
		マルチモーダル情報処理特論	1・2・3前	2	1					
		情報変換システム論	1・2・3前	2	1					
		非線形システム解析特論	1・2・3後	2		1				
		統計信号処理特論	1・2・3前	2	1					
		多元情報計測処理特論	1・2・3前	2		1				
		先端自動車工学特論	1・2・3後	2	1					
	小計(10科目)		—	0	20	0	4	5	0	0
	物質生命化学教育プログラム科目	機能性医用材料工学	1・2・3前	2	1					
		機能高分子材料化学	1・2・3後	2		1				
		無機機能物質化学	1・2・3後	2		1				
		分子システム化学	1・2・3後	2	1					
		バイオコンバージョン	1・2・3前	2		1				
		分子計測化学	1・2・3後	2	1					
		物質変換論	1・2・3後	2		1				
		生体機能分子設計	1・2・3前	2		1				
		機能電極応用化学	1・2・3後	2		1				
		ナノ機能界面制御特論	1・2・3後	2	1					
		ナノ物性シミュレーション化学	1・2・3前	2		1				
		ナノ機能物質設計特論	1・2・3前	2	1					
		ナノ界面電気化学	1・2・3後	2		1				
	物質材料工学教育プログラム科目	光機能物質科学論	1・2・3前	2		1				
		機能材料プロセス工学	1・2・3前	2	1					
		ナノ無機材料工学	1・2・3前	2	1					
	小計(16科目)		—	0	32	0	7	9	0	0
	物質材料工学教育プログラム科目	アモルファス・ナノ結晶材料学	1・2・3前	2	1					
		マテリアルプロセス設計	1・2・3後	2		1				
		先端マテリアル塑性工学	1・2・3前	2	1					
		先端セラミックス材料設計学	1・2・3後	2	1					
		マテリアル数値モデリング工学	1・2・3後	2	1					
		水素材料評価学	1・2・3後	2	1					
		ナノカーボン物質材料特論	1・2・3後	2		1				
		材料界面電子化学特論	1・2・3前	2		1				
		材料ナノ界面設計学	1・2・3前	2	1					
		微細構造評価学特論	1・2・3前	2		1				
		非線形連続体力学	1・2・3前	2		1				
		材料構造制御科学特論	1・2・3後	2		1				
	小計(12科目)		—	0	24	0	6	6	0	0
合計(150科目)			—	0	277	12	56	65	2	24
卒業要件及び履修方法										
修了要件は、後期課程に3年以上在学し、理工融合教育科目1単位および専門科目の選択科目から11単位を含む12単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を所定の手続きに従って提出し、学位論文の審査、ならびに口頭試問による最終試験に合格すること。										

専門科目	人間環境情報教育プログラム科目	モデルベースド制御特論	1・2・3後	2		1				
		人間機械システム工学特論	1・2・3後	2	1					
		サイバネティクス特論	1・2・3後	2		1				
		画像情報処理	1・2・3前	2		1				
		マルチモーダル情報処理特論	1・2・3前	2	1					
		情報変換システム論	1・2・3前	2	1					
		非線形システム解析特論	1・2・3後	2		1				
		統計信号処理特論	1・2・3前	2	1					
		多元情報計測処理特論	1・2・3前	2		1				
		先端自動車工学特論	1・2・3後	2	1					
	小計(10科目)		—	0	20	0	4	5	0	0
	物質生命化学教育プログラム科目	機能性医用材料工学	1・2・3前	2	1					
		機能高分子材料化学	1・2・3後	2		1				
		無機機能物質化学	1・2・3後	2		1				
		分子システム化学	1・2・3後	2	1					
		バイオコンバージョン	1・2・3前	2		1				
		分子計測化学	1・2・3後	2	1					
		物質変換論	1・2・3後	2		1				
		生体機能分子設計	1・2・3前	2		1				
		機能電極応用化学	1・2・3後	2		1				
		ナノ機能界面制御特論	1・2・3後	2	1					
		ナノ物性シミュレーション化学	1・2・3前	2		1				
		ナノ機能物質設計特論	1・2・3前	2	1					
		ナノ界面電気化学	1・2・3後	2		1				
	物質材料工学教育プログラム科目	光機能物質科学論	1・2・3前	2		1				
		機能材料プロセス工学	1・2・3前	2	1					
		ナノ無機材料工学	1・2・3前	2	1					
		触媒表面化学特論	1・2・3前	2		1				
		分子酵素化学	1・2・3前	2		1				
	小計(18科目)		—	0	36	0	7	11	0	0
	物質材料工学教育プログラム科目	アモルファス・ナノ結晶材料学	1・2・3前	2	1					
		マテリアルプロセス設計	1・2・3後	2		1				
		先端マテリアル塑性工学	1・2・3前	2	1					
		先端セラミックス材料設計学	1・2・3後	2	1					
		マテリアル数値モデリング工学	1・2・3後	2	1					
		水素材料評価学	1・2・3後	2	1					
		ナノカーボン物質材料特論	1・2・3後	2		1				
		材料界面電子化学特論	1・2・3前	2	1					
		材料ナノ界面設計学	1・2・3前	2	1					
		微細構造評価学特論	1・2・3前	2		1				
		非線形連続体力学	1・2・3前	2		1				
		材料構造制御科学特論	1・2・3後	2		1				
	小計(13科目)		—	0	26	0	7	6	0	0
合計(154科目)			—	0	285	12	62	64	1	24
卒業要件及び履修方法										
修了要件は、後期課程に3年以上在学し、理工融合教育科目1単位および専門科目の選択科目から11単位を含む12単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を所定の手続きに従って提出し、学位論文の審査、ならびに口頭試問による最終試験に合格すること。										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・誤謬及びカリキュラム編成の調整により、「科学技術と社会Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」「兼4」から「教授3」「准教授2」「兼3」に変更。
- ・誤謬及びカリキュラム編成の調整により、「科学技術と社会Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」「兼4」から「教授3」「准教授1」「助教1」「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「現代社会理解A」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「技術革新のための基礎科学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「マネジメント概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「科学の歴史」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「MOT概論・基礎編」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「プロジェクトマネジメント」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「企業経営概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「先端科学特別講義Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授52」「准教授64」から「教授53」「准教授63」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「プロジェクトゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授52」「助教26」から「教授54」「助教24」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「特別プレゼンテーションⅡ」の専任教員等の配置を「教授52」「助教26」から「教授54」「助教24」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「沿岸動力学特論」の配当年次を「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。
- ・担当教員の転出により、「災害リスクマネジメント」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「グラフマイナー・構造理論」の配当年次を「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。
- ・誤謬のため、「画像情報処理」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「水素材料評価学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

【令和元年度】

- ・教育上の効果を高めるため、「プロジェクトマネジメント」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「生産マネジメント」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員の就任、昇任及び転出により、「先端科学特別講義Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授53」「准教授63」「講師2」から「教授60」「准教授64」「講師1」に変更。
- ・担当教員の就任、昇任及び転出により、「プロジェクトゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授54」「准教授64」「講師2」「助教24」から「教授61」「准教授64」「講師1」「助教24」に変更。
- ・担当教員の就任、昇任及び転出により、「特別プレゼンテーションⅡ」の専任教員等の配置を「教授54」「准教授64」「講師2」「助教24」から「教授61」「准教授64」「講師1」「助教24」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「災害リスクマネジメント」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「耐震・制震設計論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「都市・建築環境心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「空間構法計画」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「混相流体力学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「バイオメカニクス」を新設。
- ・担当教員の昇任により、「ロバスト適応制御論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「グラフマイナー・構造理論特論」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「集積システム設計工学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「時系列解析特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「触媒表面化学特論」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「分子酵素化学」を新設。
- ・担当教員の昇任により、「材料界面電子化学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「実践英語」を新設。

【令和2年度】

- ・教育上の効果を高めるため、「科学技術と社会Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授2」「兼3」から「教授5」「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「科学技術と社会Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」「助教1」「兼3」から「教授3」「准教授2」「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「現代社会理解B」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「技術革新のための基礎科学」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼7」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「マネジメント概論」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「MOT概論・応用編」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「生産マネジメント」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「企業経営概論」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼4」に変更。
- ・担当教員の昇任及び就任により、「先端科学特別講義Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授60」「准教授64」「講師1」から「教授66」「准教授67」「講師1」「助教25」に変更。
- ・担当教員の昇任及び就任により、「プロジェクトゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授61」「准教授64」「講師1」「助教24」から「教授67」「准教授57」「講師1」「助教25」に変更。
- ・担当教員の昇任及び就任により、「特別プレゼンテーションⅡ」の専任教員等の配置を「教授61」「准教授64」「講師1」「助教24」から「教授67」「准教授57」「講師1」「助教25」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「地盤内物質輸送論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員の就任により、「建築構造設計学特論」を新設。
- ・担当教員の昇任により、「グラフマイナー・構造理論特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「人間環境情報教育プログラム科目」「非線形システム解析特論」を「先端情報通信工学教育プログラム科目」「非線形システム解析特論」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「非線形システム解析特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「生体機能分子設計」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	141 科目	9 科目	150 科目	0 科目 [0]	146 科目 [5]	9 科目 [0]	155 科目 [5]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	調和解析学特論	2	1・2・3後	専門	選択	カリキュラム編成の調整により、今年度は未開講とするが、他に選択可能な科目が複数あるため、履修上の問題はなく代替措置は無し。
2	マルコフ過程論	2	1・2・3後	専門	選択	カリキュラム編成の調整により、今年度は未開講とするが、他に選択可能な科目が複数あるため、履修上の問題はなく代替措置は無し。
3	逐次解析特論	2	1・2・3後	専門	選択	カリキュラム編成の調整により、今年度は未開講とするが、他に選択可能な科目が複数あるため、履修上の問題はなく代替措置は無し。
4	岩盤工学設計特論	2	1・2・3前	専門	選択	担当教員退職により、今年度は未開講とするが、他に選択可能な科目が複数あるため、履修上の問題はなく代替措置は無し。
5	環境共生農業工学特論	2	1・2・3後	専門	選択	カリキュラム編成の調整により、今年度は未開講とするが、他に選択可能な科目が複数あるため、履修上の問題はなく代替措置は無し。
6	災害リスクマネジメント	2	1・2・3前	専門	選択	カリキュラム編成の調整により、今年度は未開講とするが、他に選択可能な科目が複数あるため、履修上の問題はなく代替措置は無し。
7	補修・補強材料工学	2	1・2・3前	専門	選択	担当教員退職により、今年度は未開講とするが、他に選択可能な科目が複数あるため、履修上の問題はなく代替措置は無し。
8	マイクロ・ナノシステム創成論	2	1・2・3前	専門	選択	カリキュラム編成の調整により、今年度は未開講とするが、他に選択可能な科目が複数あるため、履修上の問題はなく代替措置は無し。
9	センサー工学特論	2	1・2・3後	専門	選択	カリキュラム編成の調整により、今年度は未開講とするが、他に選択可能な科目が複数あるため、履修上の問題はなく代替措置は無し。
10	算法定理特論Ⅱ	2	1・2・3後	専門	選択	担当教員退職により、今年度は未開講とするが、他に選択可能な科目が複数あるため、履修上の問題はなく代替措置は無し。
11	先端自動車工学特論	2	1・2・3後	専門	選択	カリキュラム編成の調整により、今年度は未開講とするが、他に選択可能な科目が複数あるため、履修上の問題はなく代替措置は無し。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・未開講となった科目については、全て選択科目であり、全体的な教育の質の確保はできている。 ・学生への周知方法は、新入生ダイガンス時に授業時間割を配布し、授業時間割を自然科学教育部ホームページに掲載しているため、問題はない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{11}{150} = 7.33\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備 考		
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	放送大学熊本学習セン ターとの共用623㎡ 地上権設定者：財団法 人熊本テクノポリス財 団 地上権設定期間： H29. 9. 1から3年間 19, 945㎡ 貸与者：熊本市 借用期間：H29. 4. 1か らH30. 3. 31（以降、毎 年度更新）494㎡ 貸与者：益城町 借用期間：H30. 10. 1か らR2. 9. 30（以降、毎 年度更新） 331㎡			
	校 舎 敷 地	475, 024 (20, 770) ㎡	623㎡	0㎡	475, 647 (20, 770) ㎡				
	運動場用地	39, 752 (0) ㎡	0㎡	0㎡	39, 752 (0) ㎡				
	小 計	514, 776 (20, 770) ㎡	623㎡	0㎡	515, 399 (20, 770) ㎡				
	そ の 他	144, 293 (0) ㎡	0㎡	0㎡	144, 293 (0) ㎡				
	合 計	659, 069 (20, 770) ㎡	623㎡	0㎡	659, 692 (20, 770) ㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	放送大学熊本学習セン ターの専用1, 112㎡			
		457, 740㎡ (457, 740㎡)	0㎡ (0㎡)	1, 112㎡ (1, 112㎡)	458, 852㎡ (458, 852㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		122室	90室	1, 206室 (補助職員 6人)	9室 (補助職員 6人)	13室 (補助職員 3人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		専任教員の退職、転出及 び採用のため（2）		
		自然科学教育部 工学専攻			150 151 室				
(5)	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
図書・ 設備	大学全体	1, 255, 975 [482, 340] (1, 255, 975 [482, 340])	21, 266 [7, 207] (21, 266 [7, 207])	17, 031 [15, 706] (17, 031 [15, 706])	2, 184 (2, 184)	67, 684 (67, 684)	35 (35)		
	計	1, 255, 975 [482, 340] (1, 255, 975 [482, 340])	21, 266 [7, 207] (21, 266 [7, 207])	17, 031 [15, 706] (17, 031 [15, 706])	2, 184 (2, 184)	67, 684 (67, 684)	35 (35)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		12, 347㎡		936		1, 035, 084			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		8, 245 ㎡		陸上競技場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート 等					
(8)	経費の 見積り 及び 維持方法 の 概 要	区 分		開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等		千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共 同 研 究 費 等		千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	熊 本 大 学										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
【学部】	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
文学部	4	170	10	700		1.06	1.05	-		熊本県熊本市中央区黒髪2 丁目40番1号	
総合人間学科	4	55	-	220	学士 (文学)	1.03	1.01	-	平成17年度	同上	
歴史学科	4	35	-	140	学士 (文学)	1.07	1.05	-	平成17年度	同上	
文学科	4	50	-	200	学士 (文学)	0.96	0.94	-	平成17年度	同上	
コミュニケーション情報学科	4	30	-	120	学士 (文学)	1.27	1.33	-	平成17年度	同上	
学部共通			3年次 10	20	学士 (文学)	-	-	-	平成11年度	同上	
教育学部	4	230	-	920		1.06	1.05	-		熊本県熊本市中央区黒髪2 丁目40番1号	
小学校教員養成課程	4	110	-	440	学士 (教育学)	1.02	1.01	-	昭和24年度	同上	
中学校教員養成課程	4	70	-	280	学士 (教育学)	1.12	1.11	-	昭和24年度	同上	
特別支援教育教員 養成課程	4	20	-	80	学士 (教育学)	1.11	1.05	-	平成19年度	同上	
養護教諭養成課程	4	30	-	120	学士 (教育学)	1.04	1.03	-	昭和52年度	同上	
法学部	4	210	10	860		1.02	1.01	-		熊本県熊本市中央区黒髪2 丁目40番1号	
法学科	4	210	-	840	学士 (法学)	1.02	1.01	-	平成16年度	同上	
学部共通			3年次 10	20	学士 (法学)	-	-	-	平成12年度	同上	
理学部	4	200	-	800		1.02	1.02	-		熊本県熊本市中央区黒髪2 丁目39番1号	
理学科	4	200	-	800	学士 (理学)	1.02	1.02	-	平成16年度	同上	
医学部											
医学科	6	110	-	685	学士 (医学)	1.00	1.00	令和2年度	昭和24年度	熊本県熊本市中央区本荘1 丁目1番1号	定員変更（△5）
保健学科	4	144	-	576	学士（看護 学、保健 学）	1.02	1.01	-	平成15年度	熊本県熊本市中央区九品寺 4丁目24番1号	
保健学科共通			3年次 16	32	学士（看護 学、保健 学）	-	-	-	平成18年度	同上	
薬学部											
薬学科	6	55	-	330	学士 (薬学)	1.02	1.03	-	平成18年度	熊本市中央区大江北町5番 1号	
創薬・生命薬科学科	4	35	-	140	学士（創薬科 学、生命薬科 学）	1.05	1.08	-	平成18年度	同上	
工学部	4	513	45	1584		1.02	1.01	-		熊本県熊本市中央区黒髪2 丁目39番1号	
土木建築学科	4	124	3年次 10	382	学士 (工学)	1.04	1.02	-	平成30年度	同上	
機械数理工学科	4	109	3年次 10	337	学士 (工学)	1.01	0.99	-	平成30年度	同上	
情報電気工学科	4	149	3年次 20	467	学士 (工学)	1.03	1.03	-	平成30年度	同上	
材料・応用化学科	4	131	3年次 5	398	学士 (工学)	1.01	1.01	-	平成30年度	同上	
物質生命化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
マテリアル工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
機械システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
社会環境工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
建築学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
情報電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止

数理工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
学部共通			3年次 -	-	学士 (工学)	-	-	-	平成10年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院教育学研究科 (修士課程)											
学校教育実践専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	平成21年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	令和2年より学生募集停止
教科教育実践専攻 (専門職学位課程)	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	平成21年度	同上	令和2年より学生募集停止
教職実践開発専攻	2	30	-	45	教職修士 (専門職)	1.09	0.93	-	平成29年度	同上	研究科の専攻の設置(事前伺い)
大学院社会文化科学教育部 (博士前期課程)											
法政・紛争解決学専攻	2	25	-	44	修士 (法学、公共政策学、学術)	0.50	0.60	-	令和元年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
公共政策学専攻	2	-	-	-	修士 (公共政策学、学術)	-	-	-	平成20年度	同上	平成31年より学生募集停止
法学専攻	2	-	-	-	修士 (法学)	-	-	-	平成20年度	同上	平成31年より学生募集停止
現代社会人間学専攻	2	18	-	36	修士 (文学、法学、学術)	1.08	1.16	-	平成20年度	同上	
文化学専攻	2	18	-	36	修士 (文学、学術)	1.10	1.05	-	平成20年度	同上	
教授システム学専攻	2	15	-	30	修士 (教授システム学、学術)	1.16	1.13	-	平成20年度	同上	
(博士後期課程)											
人間・社会科学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、法学、公共政策学、学術)	0.94	1.33	-	平成20年度	同上	
文化学専攻	3	6	-	18	博士 (文学、学術)	0.27	0.16	-	平成20年度	同上	
教授システム学専攻	3	3	-	9	博士 (学術)	1.11	1.00	-	平成20年度	同上	
大学院自然科学教育部											
(博士前期課程)											
理学専攻	2	110	-	220	修士 (理学、学術)	0.76	0.73	-	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	
土木建築学専攻	2	75	-	150	修士 (工学、学術)	1.15	1.13	-	平成30年度	同上	
機械数理工学専攻	2	65	-	130	修士 (工学、学術)	1.21	1.23	-	平成30年度	同上	
情報電気工学専攻	2	103	-	206	修士 (工学、学術)	1.05	1.04	-	平成30年度	同上	
材料・応用化学専攻	2	90	-	180	修士 (工学、学術)	0.98	0.97	-	平成30年度	同上	
(博士後期課程)											
理学専攻	3	12	-	36	博士 (理学、学術)	0.82	0.66	-	平成30年度	同上	
工学専攻	3	46	-	138	博士 (工学、学術)	0.58	0.39	-	平成30年度	同上	
大学院自然科学研究科 (博士前期課程)											
理学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、学術)	-	-	-	平成18年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	平成30年より学生募集停止
数学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、学術)	-	-	-	平成22年度	同上	平成30年より学生募集停止
建築学専攻	2	-	-	-	修士 (工学、学術)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
(博士後期課程)											
理学専攻	3	-	-	-	博士 (理学、学術)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
複合新領域科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学、工学、学術)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
産業創造工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
環境共生工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	-	-	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院医学教育部 (修士課程)											

医科学専攻 (博士課程)	2	20	-	40	修士 (医科学、健康生命科学)	0.92	1.00	-	平成15年度	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号
医学専攻	4	88	-	352	博士 (医学、生命科学、健康生命科学)	0.83	0.71	-	平成20年度	同上
大学院保健学教育部 (博士前期課程)										
保健学専攻 (博士後期課程)	2	24	-	48	修士 (保健学、看護学)	0.93	1.08	-	平成22年度	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目2番1号
保健学専攻	3	6	-	18	博士 (保健学、看護学)	1.00	1.00	-	平成22年度	同上
大学院薬学教育部 (博士前期課程)										
創薬・生命薬科学専攻 (博士後期課程)	2	35	-	70	修士 (薬科学、健康生命科学)	1.00	1.00	-	平成22年度	熊本市中央区大江本町5番1号
創薬・生命薬科学専攻 (博士課程)	3	10	-	30	博士 (薬科学、生命科学、健康生命科学)	1.26	1.00	-	平成24年度	同上
医療薬学専攻	4	8	-	32	博士 (薬学)	0.81	1.00	-	平成24年度	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜自然科学教育部 工学専攻（博士後期課程）＞

（１）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】			【令和2年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専 教授		有次 正義 ＜平成30年4月＞ 博士	専 教授		有次 正義 ＜平成30年4月＞ 博士	専 教授		有次 正義 ＜平成30年4月＞ 博士	専 教授		有次 正義 ＜平成30年4月＞ 博士
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 算法解析特論Ⅰ			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 算法解析特論Ⅰ			科学技術と社会Ⅰ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 算法解析特論Ⅰ			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 算法解析特論Ⅰ
専 教授		安藤 新二 ＜平成30年4月＞ 学術博士	専 教授		安藤 新二 ＜平成30年4月＞ 学術博士	専 教授		安藤 新二 ＜平成30年4月＞ 学術博士	専 教授		安藤 新二 ＜平成30年4月＞ 学術博士
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 先端マテリアル塑性工学 マテリアル数値モデリング工学			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 先端マテリアル塑性工学 マテリアル数値モデリング工学			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 先端マテリアル塑性工学 マテリアル数値モデリング工学			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 先端マテリアル塑性工学 マテリアル数値モデリング工学
専 教授		飯田 全広 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専 教授		飯田 全広 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専 教授		飯田 全広 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専 教授		飯田 全広 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ コンピュータアーキテクチャ特論Ⅰ 集積システム設計工学特論Ⅰ			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ コンピュータアーキテクチャ特論Ⅰ 集積システム設計工学特論Ⅰ			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ コンピュータアーキテクチャ特論Ⅰ			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ コンピュータアーキテクチャ特論Ⅰ
専 教授		池上 知願 ＜平成30年4月＞ 工学博士	専 教授		池上 知願 ＜平成30年4月＞ 工学博士	専 教授		池上 知願 ＜平成30年4月＞ 工学博士	専 教授		池上 知願 ＜平成30年4月＞ 工学博士
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 環境エレクトロニクス特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 環境エレクトロニクス特論			科学技術と社会Ⅱ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 環境エレクトロニクス特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 環境エレクトロニクス特論
専 教授		伊田 進太郎 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専 教授		伊田 進太郎 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専 教授		伊田 進太郎 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専 教授		伊田 進太郎 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ無機材料工学			科学技術と社会Ⅱ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ無機材料工学			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ無機材料工学			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ無機材料工学
専 教授		伊東 龍一 工学博士 ＜平成30年4月＞	専 教授		伊東 龍一 工学博士 ＜平成30年4月＞	専 教授		伊東 龍一 ＜平成30年4月＞ 工学博士	専 教授		伊東 龍一 ＜平成30年4月＞ 工学博士
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 保存修業論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 保存修業論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 保存修業論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 保存修業論
専 教授		井原 敏博 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専 教授		井原 敏博 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専 教授		井原 敏博 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専 教授		井原 敏博 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 分子計測化学			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 分子計測化学			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 分子計測化学			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 分子計測化学
専 教授		上田 裕市 ＜平成30年4月＞ 工学博士	専 教授		上田 裕市 ＜平成30年4月＞ 工学博士	専 教授		上田 裕市 ＜平成30年4月＞ 工学博士	専 教授		上田 裕市 ＜平成30年4月＞ 工学博士
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 情報変換システム論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 情報変換システム論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 情報変換システム論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 情報変換システム論
専 教授		宇佐川 毅 ＜平成30年4月＞ 工学博士	専 教授		宇佐川 毅 ＜平成30年4月＞ 工学博士	専 教授		宇佐川 毅 ＜平成30年4月＞ 工学博士	専 教授		宇佐川 毅 ＜平成30年4月＞ 工学博士
		インターンシップⅡ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ マルチモーダル情報処理特論			科学技術と社会Ⅱ インターンシップⅡ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ マルチモーダル情報処理特論			科学技術と社会Ⅱ インターンシップⅡ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ マルチモーダル情報処理特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ マルチモーダル情報処理特論
専 教授		大谷 順 ＜平成30年4月＞ 土木工学博士	専 教授		大谷 順 ＜平成30年4月＞ 土木工学博士	専 教授		大谷 順 ＜平成30年4月＞ 土木工学博士	専 教授		大谷 順 ＜平成30年4月＞ 土木工学博士
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 地盤工学特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 地盤工学特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 地盤工学特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 地盤工学特論

55

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	國武 雅司 <平成30年4月> 工学博士	専	教授	國武 雅司 <平成30年4月> 工学博士	専	教授	國武 雅司 <平成30年4月> 工学博士	専	教授	國武 雅司 <平成30年4月> 工学博士
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ機能界面制御特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ機能界面制御特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ機能界面制御特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ機能界面制御特論
専	教授	久保田 弘 <平成30年4月> 理学博士	専	教授	久保田 弘 <平成30年4月> 理学博士	専	教授	久保田 弘 <平成30年4月> 理学博士	専	教授	久保田 弘 <平成30年4月> 理学博士
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ電子デバイス特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ電子デバイス特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ電子デバイス特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ電子デバイス特論
専	教授	栗原 清二 <平成30年4月> 工学博士	専	教授	栗原 清二 <平成30年4月> 工学博士	専	教授	栗原 清二 <平成30年4月> 工学博士	専	教授	栗原 清二 <平成30年4月> 工学博士
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 分子システム化学			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 分子システム化学			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 分子システム化学			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 分子システム化学
専	教授	佐久川 貴志 <平成30年4月> 博士(工学)	専	教授	佐久川 貴志 <平成30年4月> 博士(工学)	専	教授	佐久川 貴志 <平成30年4月> 博士(工学)	専	教授	佐久川 貴志 <平成30年4月> 博士(工学)
		科学技術と社会Ⅰ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ パワーエレクトロニクス特論 衛星ハルスパワー発生制御技術			科学技術と社会Ⅰ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ パワーエレクトロニクス特論 衛星ハルスパワー発生制御技術			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ パワーエレクトロニクス特論 衛星ハルスパワー発生制御技術			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ パワーエレクトロニクス特論 衛星ハルスパワー発生制御技術
専	教授	櫻井 保志 <平成30年4月> 博士(工学)	専	教授	櫻井 保志 <平成30年4月> 博士(工学)						
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 時系列解析特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 時系列解析特論						
専	教授	重石 光弘 <平成30年4月> 博士(工学)	専	教授	重石 光弘 <平成30年4月> 博士(工学)	専	教授	重石 光弘 <平成30年4月> 博士(工学)	専	教授	重石 光弘 <平成30年4月> 博士(工学)
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 環境経営特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 環境経営特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 環境経営特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 環境経営特論
専	教授	城本 啓介 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	城本 啓介 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	城本 啓介 <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	城本 啓介 <平成30年4月> 博士(理学)
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 組合せ論特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 組合せ論特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 組合せ論特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 組合せ論特論
専	教授	杉谷 賢一 <平成30年4月> 博士(工学)	専	教授	杉谷 賢一 <平成30年4月> 博士(工学)	専	教授	杉谷 賢一 <平成30年4月> 博士(工学)	専	教授	杉谷 賢一 <平成30年4月> 博士(工学)
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 情報ネットワーク論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 情報ネットワーク論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 情報ネットワーク論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 情報ネットワーク論
専	教授	高島 和希 <平成30年4月> 工学博士	専	教授	高島 和希 <平成30年4月> 工学博士	専	教授	高島 和希 <平成30年4月> 工学博士	専	教授	高島 和希 <平成30年4月> 工学博士
		科学技術と社会Ⅰ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			科学技術と社会Ⅰ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
									専	教授	高藤 誠 <平成30年4月> 博士(学術)
											先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 生体機能分子設計
						専	教授	田中 智之 <平成30年4月> 博士(建築学)	専	教授	田中 智之 <平成30年4月> 博士(建築学)
								先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 空間構法計画			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 空間構法計画
									専	教授	遠 一男 <令和2年4月> 博士(工学)
						専	教授				先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 建築構造設計特論

57

59

[illegible]

61

63

64

65

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	吉武 隆一 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専	准教授	吉武 隆一 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専	准教授	吉武 隆一 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専	准教授	吉武 隆一 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 高炭素特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 高炭素特論
専	准教授	吉本 惣一郎 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専	准教授	吉本 惣一郎 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専	准教授	吉本 惣一郎 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専	准教授	吉本 惣一郎 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ界面電気化学			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ界面電気化学			科学技術と社会Ⅱ 先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ界面電気化学			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ ナノ界面電気化学
専	講師	千葉 周也 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	講師	千葉 周也 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）						
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ グラフィター・構造理論特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ グラフィター・構造理論特論						
専	講師	山口 晃生 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専	講師	山口 晃生 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専	講師	山口 晃生 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専	講師	山口 晃生 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 能動計測特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 能動計測特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 能動計測特論			先端科学特別講義Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ 能動計測特論
専	助教	尼崎 太樹 ＜平成30年4月＞ 博士	専	助教	尼崎 太樹 ＜平成30年4月＞ 博士						
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ						
専	助教	石田 桂 ＜平成30年4月＞ 博士（農学）	専	助教	石田 桂 ＜平成30年4月＞ 博士（農学）	専	助教	石田 桂 ＜平成30年4月＞ 博士（農学）	専	助教	石田 桂 ＜平成30年4月＞ 博士（農学）
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	伊藤 紘晃 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専	助教	伊藤 紘晃 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専	助教	伊藤 紘晃 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専	助教	伊藤 紘晃 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
									専	助教	福田 洋子 Yoko Fukuda ＜令和2年3月＞ 博士（工学）
											プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
									専	助教	小俣 誠二 ＜令和2年3月＞ 博士（工学）
											プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
									専	助教	郭 光植 ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
											プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	勝田 陽介 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	助教	勝田 陽介 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	助教	勝田 陽介 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	助教	勝田 陽介 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	QUITAIN ARMANDO TIBIGIN ＜平成30年4月＞ 博士（工学）									
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ									

専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	田邊 将之 ＜平成30年4月＞ 博士（文学）	専	助教	田邊 将之 ＜平成30年4月＞ 博士（文学）	専	助教	田邊 将之 ＜平成30年4月＞ 博士（文学）	専	助教	田邊 将之 ＜平成30年4月＞ 博士（文学）
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	中妻 啓 ＜平成30年4月＞ 博士（情報理工学）	専	助教	中妻 啓 ＜平成30年4月＞ 博士（情報理工学）	専	助教	中妻 啓 ＜平成30年4月＞ 博士（情報理工学）	専	助教	中妻 啓 ＜平成30年4月＞ 博士（情報理工学）
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	中村 能久 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	助教	中村 能久 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	助教	中村 能久 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	専	助教	中村 能久 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	波多 英寛 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専	助教	波多 英寛 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専	助教	波多 英寛 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専	助教	波多 英寛 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	日隈 聡士 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専	助教	日隈 聡士 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）						
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ						
専	助教	松原 靖子 ＜平成30年4月＞ 博士（情報学）	専	助教	松原 靖子 ＜平成30年4月＞ 博士（情報学）						
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ						
専	助教	眞鍋 雄貴 ＜平成30年4月＞ 博士（情報科学）	専	助教	眞鍋 雄貴 ＜平成30年4月＞ 博士（情報科学）	専	助教	眞鍋 雄貴 ＜平成30年4月＞ 博士（情報科学）			
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			
						専	助教	森山 仁志 ＜平成30年10月＞ 博士（工学）	専	助教	森山 仁志 ＜平成30年10月＞ 博士（工学）
								プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	山口 信 ＜平成30年4月＞	専	助教	山口 信 ＜平成30年4月＞	専	助教	山口 信 ＜平成30年4月＞	専	助教	山口 信 ＜平成30年4月＞
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			科学技術と社会Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			科学技術と社会Ⅱ プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
						専	助教	芳田 嘉志 ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	専	助教	芳田 嘉志 ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
								プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
専	助教	渡邊 智 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専	助教	渡邊 智 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専	助教	渡邊 智 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）	専	助教	渡邊 智 ＜平成30年4月＞ 博士（工学）
		プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ			プロジェクトゼミナールⅡ 特別プレゼンテーションⅡ
兼任 教授		赤井 一郎 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	兼任 教授		赤井 一郎 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	兼任 教授		赤井 一郎 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	兼任 教授		赤井 一郎 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）
		科学技術と社会Ⅰ			科学技術と社会Ⅰ			科学技術と社会Ⅰ			科学技術と社会Ⅰ
兼任 教授		市川 聡夫 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	兼任 教授		市川 聡夫 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	兼任 教授		市川 聡夫 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）			
		科学技術と社会Ⅰ			科学技術と社会Ⅰ			科学技術と社会Ⅰ			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	速水 真也 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	兼任	教授	速水 真也 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）				兼任	教授	
		科学技術と社会Ⅱ			科学技術と社会Ⅱ						
兼任	教授	楊 萍 ＜平成30年4月＞ 博士（農学）	兼任	教授	楊 萍 ＜平成30年4月＞ 博士（農学）	兼任	教授	楊 萍 ＜平成30年4月＞ 博士（農学）	兼任	教授	楊 萍 ＜平成30年4月＞ 博士（農学）
		木造構造解析特論			木造構造解析特論			木造構造解析特論			木造構造解析特論
						兼任	教授	吉瀬 朗 ＜平成31年4月＞ 博士（理学）			
								科学技術と社会Ⅱ			
兼任	准教授	北別府 悠 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）									
		科学技術と社会Ⅰ									
兼任	准教授	杉崎 文亮 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	杉崎 文亮 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）						
		科学技術と社会Ⅰ			科学技術と社会Ⅰ						
						兼任	准教授	谷本 祥 ＜平成31年4月＞ 外国の博士号	兼任	准教授	谷本 祥 ＜平成31年4月＞ 外国の博士号
								科学技術と社会Ⅰ			科学技術と社会Ⅰ
兼任	准教授	中村 政明 ＜平成30年4月＞ 理学博士									
		科学技術と社会Ⅱ									
兼任	准教授	望月 伸竜 ＜平成30年4月＞ 博士（理学）									
		科学技術と社会Ⅱ									
									兼任	講師	有定 希晶 ＜令和2年10月＞ 修士（工学）
											生産マネジメント
			兼任	講師	瀧村 大誠 ＜平成30年10月＞ 学士（言語・地域文化）	兼任	講師	瀧村 大誠 ＜平成30年10月＞ 学士（言語・地域文化）	兼任	講師	瀧村 大誠 ＜平成30年10月＞ 学士（言語・地域文化）
					マネジメント概論			マネジメント概論			マネジメント概論
兼任	講師	入江 英也 ＜平成30年4月＞ 経営学（修士）	兼任	講師	入江 英也 ＜平成30年4月＞ 経営学（修士）	兼任	講師	入江 英也 ＜平成30年4月＞ 経営学（修士）	兼任	講師	入江 英也 ＜平成30年4月＞ 経営学（修士）
		ベンチャー企業論			ベンチャー企業論			ベンチャー企業論			ベンチャー企業論
									兼任	講師	岩永 智夫 ＜令和2年10月＞ 博士（理学）
											技術革新のための基礎科学
									兼任	講師	Wetula, Leopold ＜令和2年1月＞ 法務博士、MBA
											現代社会理解B

専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	大隈 恵治 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	大隈 恵治 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	大隈 恵治 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	大隈 恵治 <平成30年4月> 博士(工学)
		現代社会理解A MOT概論・基礎編			現代社会理解A 企業経営概論			現代社会理解A 企業経営概論			現代社会理解A
			兼任	講師	加藤 文元 <平成30年4月> 博士(理学)	兼任	講師	加藤 文元 <平成30年4月> 博士(理学)	兼任	講師	加藤 文元 <平成30年4月> 博士(理学)
					科学の歴史			科学の歴史			科学の歴史
			兼任	講師	川人 繁 <平成30年10月> 博士(学術)	兼任	講師	川人 繁 <平成30年10月> 博士(学術)	兼任	講師	川人 繁 <平成30年10月> 博士(学術)
					マネジメント概論			マネジメント概論			マネジメント概論
兼任	講師	来海 和彦 <平成30年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	来海 和彦 <平成30年10月> 博士(薬学)	兼任	講師	来海 和彦 <平成30年10月> 博士(薬学)			
		MOT概論・基礎編			企業経営概論			企業経営概論			
			兼任	講師	釘宮 智也 <平成30年10月> 博士(工学)	兼任	講師	釘宮 智也 <平成30年10月> 博士(工学)			
					企業経営概論			企業経営概論			
兼任	講師	小間 裕康 <平成30年4月> MBA	兼任	講師	小間 裕康 <平成30年4月> MBA	兼任	講師	小間 裕康 <平成30年4月> MBA	兼任	講師	小間 裕康 <平成30年4月> MBA
		ベンチャー企業論			ベンチャー企業論			ベンチャー企業論			ベンチャー企業論
			兼任	講師	春藤 龍士 <平成30年10月> 博士(工学)	兼任	講師	春藤 龍士 <平成30年10月> 博士(工学)			
					企業経営概論			企業経営概論			
兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月> 博士(哲学)	兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月> 博士(哲学)	兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月> 博士(哲学)	兼任	講師	杉尾 一 <平成30年4月> 博士(哲学)
		科学の歴史			科学の歴史			科学の歴史			科学の歴史

72

専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	前川 幸二 <平成30年10月> なし	兼任	講師	前川 幸二 <平成30年10月> なし	兼任	講師	前川 幸二 <平成30年10月> なし			
		生産マネジメント			生産マネジメント			生産マネジメント			
兼任	講師	松尾 洋 <平成30年4月> 教育学修士	兼任	講師	松尾 洋 <平成30年4月> 教育学修士	兼任	講師	松尾 洋 <平成30年4月> 教育学修士	兼任	講師	松尾 洋 <平成30年4月> 教育学修士
		MOT概論・基礎編 ベンチャー企業論			現代社会理解A ベンチャー企業論			現代社会理解A ベンチャー企業論			現代社会理解A ベンチャー企業論
			兼任	講師	吉永 純一 <平成30年10月> 工学修士						
					マネジメント概論						
			兼任	講師	Robert Geoffrey Dormer <平成30年4月> BA/MA Philosophy; MA TESOL & Applied Linguistics; MA International Relations	兼任	講師	Robert Geoffrey Dormer <平成30年4月> BA/MA Philosophy; MA TESOL & Applied Linguistics; MA International Relations	兼任	講師	Robert Geoffrey Dormer <平成30年4月> BA/MA Philosophy; MA TESOL & Applied Linguistics; MA International Relations
					マネジメント概論			マネジメント概論			マネジメント概論
			兼任	講師	Laura Huston <平成30年8月> Master's of Science in Education (TESOL)	兼任	講師	Laura Huston <平成30年8月> Master's of Science in Education (TESOL)			
					技術革新のための基礎科学			技術革新のための基礎科学			
									兼任	講師	渡辺 幸信 <令和2年10月> 修士(経営学)
											企業経営概論

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。

その上で、**届出時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**

- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の歳年齢**を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・昇任により、平成30年2月からQUITAIN ARMANDO TIBIGIN助教を教授に変更。
- ・配置換え及び昇任により、平成30年1月から上瀧剛助教を准教授に変更。
- ・他大学への転出により、松田泰治教授就任辞退。
- ・昇任により、平成30年4月から峯洋二准教授を教授に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、伊田進太郎教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、宇佐川毅教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、森和也教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、山成貴教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、オノ木敦士准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、坂田真砂代准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、水本郁朗准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、山口信助教の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月高宮正之教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月長谷中利明教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、北別府悠准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、中村政明准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、望月伸竜准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月磯村大成講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、大隈恵治講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月加藤文元講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月川人紫講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、来海和彦講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月釘宮哲也講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月春藤龍士講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、瀬戸康雄講師の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月田子学講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月古屋弘講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月JOSEP-LLUIS BARONA-VILAR講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、松尾洋講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月吉永純一講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月Robert Geoffrey Dormer講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年8月Laura Huston講師就任予定。

【令和元年度】

- ・教育上の効果を高めるため、有次正義教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、飯田全広教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、池上知顕教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、伊田進太郎教授の担当科目を変更。
- ・昇任により、平成31年4月から川井敬二准教授を教授に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、川井敬二教授の担当科目を変更。
- ・昇任により、平成30年6月から川原顕磨呂准教授を教授に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、金大弘教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、佐久川貴志教授の担当科目を変更。
- ・他大学への転出により、櫻井保志教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、高島和希教授の担当科目を変更。
- ・昇任により、平成30年7月から田中智之准教授を教授に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、趙華安教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、平成31年4月松村政秀教授就任。
- ・昇任により、平成30年6月から水本郁朗准教授を教授に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、平成31年4月森田康之教授就任。
- ・昇任により、平成31年4月から山崎倫昭准教授を教授に変更。
- ・昇任により、平成31年1月から尼崎太樹助教を准教授に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、尼崎太樹准教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、平成30年6月大山順也准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、葛西昭准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、上瀧剛准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、オノ木敦士准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、坂田真砂代准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、杉本 学准教授の担当科目を追加。
- ・昇任により、平成30年10月から千葉周也講師を准教授に変更。
- ・退職により、中村徹准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、藤見俊夫准教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、平成31年2月松川義孝准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、松田俊郎准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、平成31年4月山川俊貴准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、平成31年4月山口佳宏准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、吉武隆一准教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、吉本惣一郎准教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、平成31年4月郭光植助教就任。
- ・他研究所への転出により、日隈聡士助教の担当科目を変更。
- ・他大学への転出により、松原靖子助教の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、平成30年10月森山仁志助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、平成31年4月芳田嘉志助教就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、渋谷秀敏教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月高橋浩一教授就任。
- ・定年退職により、高宮正之教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月瀧尾進教授就任。
- ・定年退職により、平成31年4月から當倉利之教授を講師に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月西野宏教授就任。
- ・定年退職により、平成31年4月から長谷中利昭教授を講師に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、速水真也教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月吉朝朗教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、杉崎文亮准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月谷本祥准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年10月草野秀樹講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成31年4月瀬戸英昭講師就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、瀬戸康雄講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、古屋弘講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、吉永純一講師の担当科目を変更。

【令和２年度】

- ・昇任により、令和２年４月から高藤誠准教授を教授に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、令和２年４月増一男教授就任。
- ・昇任により、令和２年４月から常田明夫准教授を教授に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、令和２年７月野口祐二教授就任予定。
- ・昇任により、令和２年４月から椋木俊文准教授を教授に変更。
- ・昇任により、令和２年４月から千葉周也准教授を教授に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、令和２年３月小俣誠二助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、令和２年３月稲田 シュンコ アルバーノ助教就任。
- ・定年退職により、尾原祐三教授の担当科目を変更。
- ・他大学への転出により、大館陽太准教授の担当科目を変更。
- ・他大学への転出により、武田浩二准教授の担当科目を変更。
- ・他大学への転出により、濱武英准教授の担当科目を変更。
- ・他大学への転出により、眞鍋雄貴助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、有次正義教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、池上知顕教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、宇佐川毅教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、勝木淳教授の担当科目を追加。

- ・教育上の効果を高めるため、河村能人教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、金大弘教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、高橋浩一教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、趙華安教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、連川貞弘教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、西本昌彦教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、原田博之教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、松永信智教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、椋木俊文教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、杉本学准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、中島雄太准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、長谷川麻子准教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、深港豪准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、藤見俊夫准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、吉本惣一郎准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、山口信助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、市川総夫教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和２年４月入江亮教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和２年４月斉藤寿仁教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、高橋浩一教授の担当科目を変更。

- ・定年退職により、瀧尾 進教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和２年４月谷時夫教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、西野宏教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和２年４月松田博貴教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、吉朝朗教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和２年10月有定裕晶講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和２年10月岩永哲夫講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和２年１月Wetula, Leopold講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和２年１月Weltzien, Alec講師就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、大隈恵治講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和元年11月片岡直行講師就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、来海和彦講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、釘宮哲也講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、草野秀樹講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和２年10月窪田英司講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和元年８月Cheryl Lynn Ames講師就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、春藤龍士講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和２年10月正田英樹講師就任予定予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和２年１月Zhang Guang-Ping講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和２年６月鈴木 拓講師就任予定。

- ・カリキュラム編成の調整により、瀬戸英昭講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和元年11月竹島伸一講師就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、田子 学講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、當舎利行講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和元年６月名取はにわ講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和２年10月長谷直達講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和２年４月平山雄太講師就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、古屋 弘講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、前川幸二講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和２年10月森戸裕一講師就任予定。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和２年10月安元章裕講師就任予定。
- ・カリキュラム編成の調整により、Laura Huston講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和２年10月渡辺孝信講師就任予定。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
16 名	11 名	0 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
54	64	2	26	146	0	67	57	1	25	150	0
(56)	(65)	(2)	(24)	(147)	0						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
119	27	0				129	20	0			
(120)	(27)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
67	57	1	25	150	0	67	57	1	25	150	0
[13]	[Δ7]	[Δ1]	[Δ1]	[4]	[0]	[13]	[Δ7]	[Δ1]	[Δ1]	[4]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
130	20	0				130	20	0			
[11]	[Δ7]	[0]				[11]	[Δ7]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員の うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{150}{146} = \boxed{102.73} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{150} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	松田 泰治	H29.4	選択	災害リスクマネジメント	①	H29.4.30付け他大学転出のため就任辞退（30）
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	1	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
- ・ 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	櫻井 保志	H31.1	選択	先端科学特別講義Ⅱ	①	H31.1.31付け他大学転出のため辞任（元）
				選択	プロジェクトゼミナールⅡ	①	
				選択	特別プレゼンテーションⅡ	①	
				選択	時系列解析特論	①	
2	准教授	中村 徹	H31.3	選択	先端科学特別講義Ⅱ	①	H31.3.29付け退職のため辞任（元）
				選択	プロジェクトゼミナールⅡ	①	
				選択	特別プレゼンテーションⅡ	①	
				選択	調和解析学特論	③	
3	助教	日隈聡士	H31.3	選択	プロジェクトゼミナールⅡ	①	H31.3.31付け他研究所転出のため辞任（元）
				選択	特別プレゼンテーションⅡ	①	
4	助教	松原靖子	H31.3	選択	プロジェクトゼミナールⅡ	①	H31.4.30付け他大学転出のため辞任（元）
				選択	特別プレゼンテーションⅡ	①	
5	准教授	武田浩二	R2.3	選択	先端科学特別講義Ⅱ	①	R2.3.31付け他大学転出のため退職(2)
				選択	プロジェクトゼミナールⅡ	①	
				選択	特別プレゼンテーションⅡ	①	
				選択	補修・補強材料工学	③	
6	准教授	濱 武英	R2.3	選択	先端科学特別講義Ⅱ	①	R2.3.31付け他大学転出のため退職(2)
				選択	プロジェクトゼミナールⅡ	①	
				選択	特別プレゼンテーションⅡ	①	
				選択	環境共生産業工学特論	③	
7	准教授	大館陽太	R2.3	選択	先端科学特別講義Ⅱ	①	R2.2.29付け他大学転出のため退職(2)
				選択	プロジェクトゼミナールⅡ	①	
				選択	特別プレゼンテーションⅡ	①	
				選択	算法解析特論Ⅱ	③	
8	助教	眞鍋雄貴	R2.3	選択	プロジェクトゼミナールⅡ	①	R2.3.31付け他大学転出のため退職(2)
				選択	特別プレゼンテーションⅡ	①	
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
8	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	26	科目	選択	22	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	26	科目	計	22	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
9	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	27 科目	選択	23 科目	選択	0 科目	選択	4 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	27 科目	計	23 科目	計	0 科目	計	4 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{9}{146} = \boxed{6.16} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由					
1	教授	尾原祐三	選択	岩盤工学設計特論	③	R2.3.31付け定年のため退職（2）					
合計					後任補充状況の集計						
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
1	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	科目	選択	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	0	科目	計	0	科目	計

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退、辞退の教員に係る担当科目については、他の専任教員で補完している。今年度は11科目について未開講としているが、他に選択可能な科目が複数あるため、特に履修上の支障は無い。
学生への周知方法については、新入生ガイダンス時に授業時間割を配布し、また授業時間割を自然科学教育部ホームページに掲載すること等により、担当教員を充分周知している。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

該当なし

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<自然科学教育部 理学専攻（博士後期課程）>

（１）設置計画変更事項等 該当なし

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

（注）・ １～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 自然科学教育部FD委員会を設置している。 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ・令和元年6月6日 第1回FD委員会（14名中14名参加） ・令和2年1月6日～1月17日 第2回FD委員会（メール開催） c 委員会の審議事項等 ・年間の活動計画 ・シラバスチェック ・FD講演会について ② 実施状況 a 実施内容 1. FD講演会：「熊本大学における学習成果の可視化」 2. シラバスチェック 3. FD実施体制の検討 4. 教員相互の授業参観 b 実施方法 1. FD講演会：本学大学教育統括管理運営機構より講師を迎えて「熊本大学における学習成果の可視化－学習成果可視化システム（ASO）の活用促進－」のタイトルで実施。 2. シラバスチェック：FD委員が各専攻、コース・教育プログラムのシラバスを9月中旬～10月末までにチェックする。また、「シラバス実施報告書」を作成した。 3. FD実施体制の検討：FD実施体制について委員会で検討した。 4. 大学院開講の全科目を対象として、教員相互の授業参観を実施した。 c 開催状況（教員の参加状況含む） 1. FD講演会：令和元年7月26日（金） 教員61名参加（理学部、工学部と合同で実施） 2. シラバスチェック：令和元年8月6日～10月31日 12コース・教育プログラムで実施 3. FD実施体制の検討：令和元年6月 FD委員による意見交換 4. 教員相互の授業参観：令和元年6月～令和元年1月に理学部、工学部と合同で実施（大学院のみの授業参観者数 7名） d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・シラバスシステムにより作成されたシラバスがシラバスシステム構築の目的に沿ったものであるか検証した結果を2020年度シラバスの入力へ反映させ、教育の質の向上を資する。 ・FD活動について、学部と大学院が連携して実施する体制を確認し、年度計画策定や活動を行っている。 ・授業参観を実施し、意見交換を行うことにより、授業を実施した教員及び参観した教員相互にとって今後の授業の計画、実施に有益なものとなった。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 実施有 年4回（授業終了時に）予定している。 b 教員や学生への公開状況、方法等 毎年、熊本大学ポータル内授業改善アンケートシステムで教員および学生へ公開している。 2020年度については、授業評価アンケートを未だ実施していないため、実施・集計後に公開を行う。
--

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を実施するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年度に自己評価を行い、令和元年10月公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開済

https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/kihonjoho/hyouka/copy_of_hyouka-h26

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年度を目処に評価機構（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の認証評価を受けることについて、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有]

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。